

IBM Campaign

バージョン 9 リリース 1.1

2014 年 11 月 26 日

System Tables Data Dictionary



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、475 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Campaign バージョン 9、リリース 1、モディフィケーション 1 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Campaign
Version 9 Release 1.1
November 26, 2014
System Tables Data Dictionary

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1999, 2014.

目次

第 1 章 IBM Campaign システム・テ

ブルの概要 1

IBM Campaign システム・テーブル: バージョンごと
の変更点のリスト 1

IBM Campaign システム・テーブルのデータ・モデル
図 5
システム・テーブル・レコードの追加属性の定義 . . 6

第 2 章 IBM Campaign システム・テ

ブル・リファレンス 7

UA_ActionCustomer	7
UA_AttributeDef	8
UA_Calendar	25
UA_Campaign	40
UA_AnnotationInfo	60
UA_CampAttribute	72
UA_CampToCellAttr	77
UA_CampToOffer	79
UA_CampToSegment	81
UA_CCRunLog	82
UA_CellAttribute	92
UA_ContactHistory	97
UA_ContactStatus	109
UA_CustomMacros	115
UA_DerivedField	129
UA_DtlContactHist	139
UA_EnumAttrValues	150
UA_Flowchart	156
UA_FlowchartSeg	175
UA_FlowchartTmpl	178
UA_Folder	187
UA_IDSByType	202
UA_Initiatives	205
UA_Offer	205
UA_OfferAttribute	230
UA_OfferHistAttrib	235

UA_OfferHistory	240
UA_OfferList	244
UA_OfferListMember	262
UA_OfferListRes	268
UA_OfferSuppression	270
UA_OfferTemplate	271
UA_OfferTemplAttr	296
UA_OfferToProduct	304
UA_Personalization	306
UA_Product	312
UA_ProductIndex	314
UA_ResponseHistory	317
UA_RespTypeMapping	336
UA_SegMembership	336
UA_Segment	338
UA_SegmentType	358
UA_SegRefType	360
UA_SesnRunType	362
UA_Session	364
UA_SummaryCube	376
UA_TableCatalog	389
UA_TargetCells	398
UA_Time	422
UA_TmpTablePool	425
UA_Treatment	432
UA_Triggerlist	452
UA_UsrResponseType	462
UA_Version	468

IBM 技術サポートに問い合わせる前に 473

特記事項 475

商標	477
プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考 慮事項	477

第 1 章 IBM Campaign システム・テーブルの概要

IBM® Campaign システム・テーブルの資料は、統合の目的のために IBM Campaign データ・モデルを理解できるようにすることを意図しています。

重要: 特に明記しない限り、(ユーザー・インターフェースを経由せずに) システム・テーブルを直接変更しないでください。システム・テーブルを直接変更すると、アプリケーションの機能に問題が生じる可能性があります、発生した問題を IBM 技術サポートが解決することがより困難になる場合があります。

IBM Campaign システム・テーブル: バージョンごとの変更点のリスト

このトピックでは、システム・データベース・スキーマの変更点をバージョンごとに示しています。

IBM は、システム・テーブル・スキーマをいつでも変更できる権利を保持します。Campaign システム・テーブルを使用してカスタムの統合を開発する場合、今後のリリースの IBM Campaign システム・テーブルを処理するために、これらのコンポーネントを確認し、場合によっては変更する必要があります。

IBM Campaign システム・テーブルを使用したカスタム開発またはサード・パーティーの拡張機能について、後方互換性やマイグレーションの自動化は保証しません。特に明記しない限り、IBM は、この製品の一部として出荷された IBM Campaign アプリケーションまたは標準ツールによる標準的なアプリケーションの使用以外には、いかなる IBM Campaign システム・テーブルの使用もサポートしません。

v9.1.1 のシステム・データベース・スキーマの変更点

- 変更されたテーブルはありません。
- 新しいテーブルが 1 つ追加されました:

```
CREATE TABLE UA_AnnotationInfo (  
    FlowchartID bigint NOT NULL,  
    AnchorID bigint NOT NULL,  
    AnchorType int NOT NULL,  
    CreationDate datetime NULL,  
    CreatedBy int NULL,  
    LastUpdated datetime NULL,  
    LastUpdatedBy int NULL,  
    X int NULL,  
    Y int NULL,  
    IsVisible int NULL,  
    Content nvarchar(1024) NULL,  
    CONSTRAINT cAnnotationInfo_PK  
    PRIMARY KEY (FlowchartID ASC, AnchorID ASC, AnchorType ASC)  
)
```

v9.1 のシステム・データベース・スキーマの変更点

- 変更されたテーブルはありません。
- eMessage-Campaign 統合をサポートするために、新しいテーブル UA_RespTypeMapping が追加されました:

CampaignRespTypeID	EMessageRespTypeID	ApplicationType
9	1	3
10	14	3
11	18	3

- Campaign UA_UsrResponseType テーブルと eMessage テーブル UACE_ResponseType の間の結合として、UA_RespTypeMapping テーブルが使用されます。
- 「リンク・クリック」(9,1,3)、「待ち受けページ」(10,14,3) および「SMS 応答メッセージ」(11,18,3) が利用できます。現在は「リンク・クリック」のみ使用されています。「待ち受けページ」および「SMS 応答メッセージ」の列は、現在 ETL プロセスによってデータ設定されません。今後さらに、ETL プロセスが使用できる応答タイプが追加され、パフォーマンス・レポートに追加される可能性があります。

v9.0 のシステム・データベース・スキーマの変更点

- 変更されたテーブルはありません。
- 新しいテーブルが追加されました:

```
CREATE TABLE UA_OfferSuppression (  
    OfferID                bigint NOT NULL,  
    SuppressionType        int NOT NULL,  
    ResponseTypeCode       varchar(64) NULL,  
    EventCount             int NULL,  
    AttributeID            bigint NULL,  
    StringValue            nvarchar(1024) NULL,  
    NumberValue            float NULL,  
    DatetimeValue          datetime NULL,  
    SuppressionDuration    int NULL,  
    CONSTRAINT cOfferSuppression_PK  
    PRIMARY KEY (OfferID ASC, SuppressionType ASC)  
)
```

```
CREATE TABLE UA_RespTypeMapping (  
    CampaignRespTypeID    bigint NOT NULL,  
    EMessageRespTypeID    bigint NOT NULL,  
    ApplicationType        int NULL  
)
```

v8.6 のシステム・データベース・スキーマの変更点

バージョン 8.6 ではスキーマの変更はありません。

v8.5 のシステム・データベース・スキーマの変更点

- 追加された新しいテーブルはありません。
- 以下のテーブルが変更されました。
 - UA_TmpTablePool: add InstanceID bigint NULL
 - UPDATE UA_TmpTablePool: set InstanceID = 0 where InstanceID IS NULL
 - ALTER Table UA_OfferList: add creatorFlag int NULL, creatorObjectId bigint NULL
 - UPDATE UA_OfferList: set creatorFlag = 0 , creatorObjectId = 0
 - ALTER Table UA_Folder: add creatorFlag int NULL, creatorObjectId bigint NULL
 - UPDATE UA_Folder: set creatorFlag = 0, creatorObjectId = 0
 - ALTER TABLE UA_ATTRIBUTEDDEF: add isMandatory int NULL
 - ALTER TABLE UA_ATTRIBUTEDDEF: add sortOrder int NULL
 - UPDATE UA_ATTRIBUTEDDEF: set isMandatory = 0, sortOrder = 0
 - ALTER TABLE UA_ENUMATTRVALUES: add isDefault int NULL
 - UPDATE UA_ENUMATTRVALUES: set isDefault = 0
 - Insert into UA_AttributeDef (AttributeID, Name, DisplayName, Description, ObjectType, AttributeType, EnumType, Length, SystemDefined, isMandatory, sortOrder) VALUES (15, ' CreativeURL ', 'Creative URL', 'The creative or digital asset URL associated with this offer', 4, 1, 0, 512, 1, 0, 0)

v8.2 のシステム・データベース・スキーマの変更点

- 追加された新しいテーブルはありません。
- 次の変更が行われました。
 - ALTER Table UA_Offer add creatorFlag int NULL, creatorObjectId bigint NULL
 - UPDATE UA_Offer set creatorFlag = 0 , creatorObjectId = 0
 - ALTER Table UA_OfferTemplate add creatorFlag int NULL, creatorObjectId bigint NULL
 - UPDATE UA_OfferTemplate set creatorFlag = 0, creatorObjectId = 0

v8.1 のシステム・データベース・スキーマの変更点

- 以下のテーブルが追加されました:

```
CREATE TABLE UA_TmpTablePool (  
    ID                bigint NOT NULL,  
    DataSrcName       nvarchar(255) NOT NULL,  
    TableSchema       nvarchar(1024) NOT NULL,  
    TableID           bigint NULL,  
    UserID            bigint NULL,  
    FlowchartID       bigint NULL,  
    Status            tinyint NULL,  
    CONSTRAINT cTmpTablePool2_PK  
        PRIMARY KEY (ID ASC)  
)
```

- 次の変更が行われました。

```
UPDATE UA_TARGETCELLS SET approved = 1 WHERE approved IS NULL
```

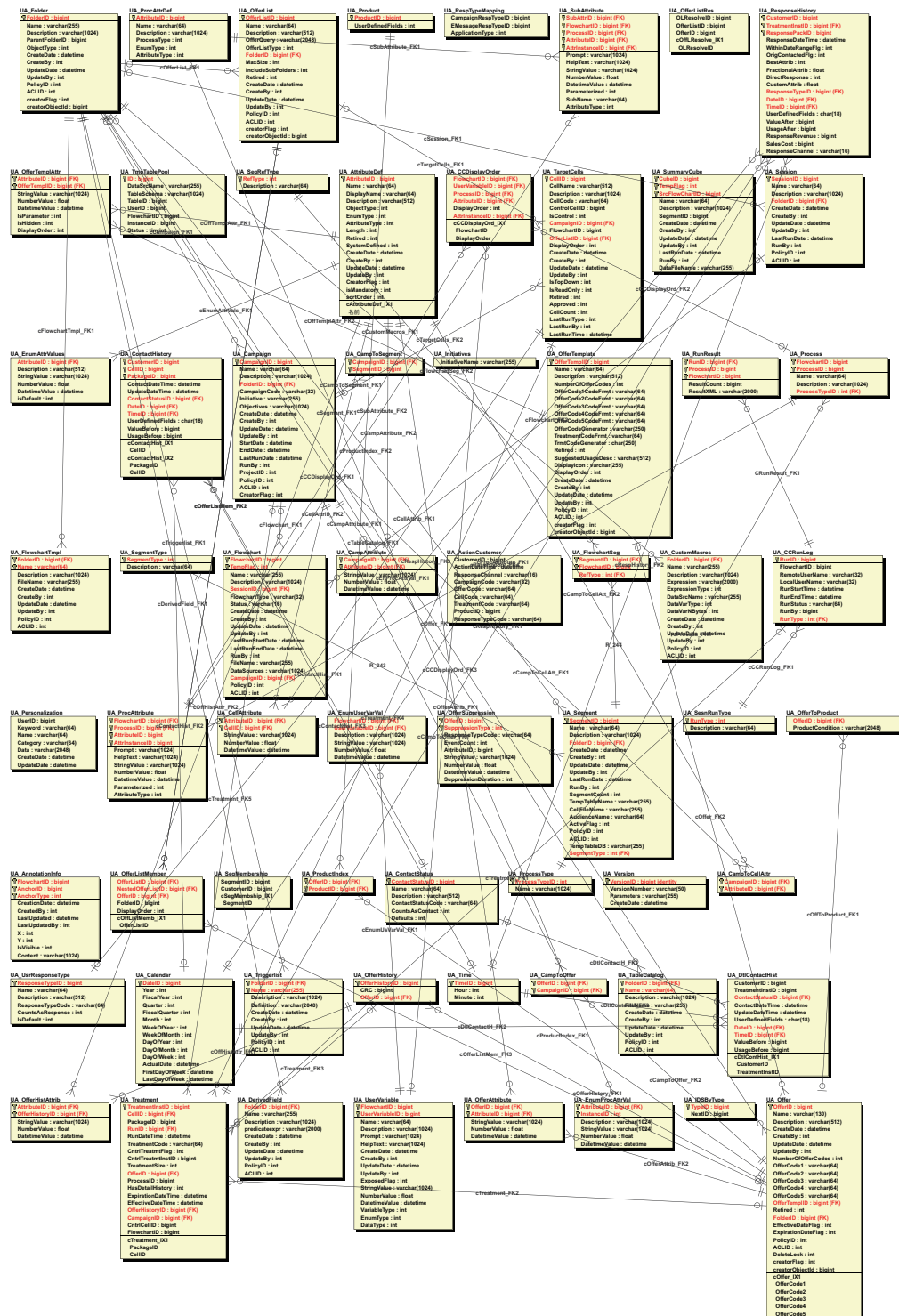
v8.0 のシステム・データベース・スキーマの変更点

- 追加された新しいテーブルはありません。
- 次の変更が行われました。

```
CREATE UNIQUE INDEX cAttributeDef_IX1 ON UA_AttributeDef  
(  
    Name ASC  
)
```


IBM Campaign システム・テーブルのデータ・モデル図

このエンティティー・リレーションシップ・モデルは、各 IBM Campaign システム・テーブルとキー、フィールド、およびデータ・タイプを特定します。



システム・テーブル・レコードの追加属性の定義

システム・テーブル・リファレンスの「追加属性」列には、各システム・テーブルのフィールドに関する情報があります。以下の定義は、「追加属性」列に含まれる各属性の意味について説明しています。

表 1. システム・テーブル・レコード内の追加属性

追加属性	定義
1 次キーですか?	フィールドが 1 次キーかどうか。
外部キーですか?	フィールドが外部キーであるかどうか。
必須フィールドですか?	フィールドが有効な行項目として、テーブル内の必須フィールドであるかどうか。
システム生成ですか?	フィールドに、オブジェクト作成時のシステム生成のデフォルト値があるかどうか。
システム生成のオーバーライドですか?	システム生成の値がある場合、ユーザーがデフォルト値を変更できるかどうか。
ユーザー入力ですか?	フィールドに、Campaign ユーザー・インターフェースを通してユーザーが入力したかどうか。
作成時に保管しますか?	フィールドの最初の作成時にデータが入力されるかどうか。
保存時に保管しますか?	このフィールドの値が、最初のオブジェクト作成の後 (保存時) に編集したり変更したりできるかどうか。
実行時に保管しますか?	フローチャートの実行時に、このフィールドにデータが入力されるかどうか。
構成に影響されますか?	このフィールドが構成パラメーターによって影響されるかどうか。

第 2 章 IBM Campaign システム・テーブル・リファレンス

システム・テーブル・リファレンスでは、各 IBM Campaign システム・テーブルの詳細について説明します。以下の表に示されるデータ型は一般タイプであるため、システム・テーブルで使用されているデータベースによっては、ご使用の IBM Campaign インストール済み環境のものとは異なる場合があります。IBM Campaign システム・テーブルは、IBM Campaign をインストールする前に作成されたデータベースに保管されます。データベースには、任意の名前を付けることができます。ODBC またはネイティブ接続は、データベースへの接続を提供します。Campaign | partitions | partition1 | dataSources | UA_SYSTEM_TABLES の下にある IBM Campaign 構成設定によって、IBM Campaign がデフォルト・パーティションのデータベース (独自のシステム・テーブルも含む) と対話する方法が決定されます。

UA_ActionCustomer

UA_ActionCustomer テーブルは、顧客オーディエンス・レベル用に提供されるサンプルの操作テーブルです。このテーブル内のフィールドは、レスポンス履歴の生成に役立つフィールドの例です。管理者は、必要に応じてこのテーブルをカスタマイズできます。通常、各オーディエンス・レベルには、独自の操作テーブルがあり、レスポンス・トラッキングに使用されます。

表 2. UA_ActionCustomer のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CustomerID	BIGINT	NOT NULL	このフィールドは、1 つ以上のフィールドから成るオーディエンス・レベルを表します。	19	1 次キーですか? いいえ
ActionDateTime	TIMESTAMP	NOT NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	23,3	1 次キーですか? いいえ
ResponseChannel	VARCHAR	NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	16	1 次キーですか? いいえ
CampaignCode	VARCHAR	NOT NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	32	1 次キーですか? いいえ
OfferCode	VARCHAR	NOT NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	64	1 次キーですか? いいえ
CellCode	VARCHAR	NOT NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	64	1 次キーですか? いいえ
TreatmentCode	VARCHAR	NOT NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	64	1 次キーですか? いいえ
ProductID	BIGINT	NOT NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	19	1 次キーですか? いいえ
ResponseTypeCode	VARCHAR	NULL	レスポンス履歴の生成時に使用できるフィールドの例。	64	1 次キーですか? いいえ

UA_AttributeDef

UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	属性のグローバル固有 ID。この ID は、属性が作成されたときにシステムによって割り当てられます。カスタム属性の ID は、100 または internalIDLowerLimit 構成パラメータの値 (大きい方の値) から開始します。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	属性の内部名。この名前は、グローバルに固有である必要があります。カスタム属性の名前はユーザー提供であり、フィールドが AGF として使用される際にすべての Campaign 照会式で使用される名前になります。システム定義の属性の内部名は自動的に提供され、変更することはできません。使用後にこの値を変更すると、以前の名前を参照する照会式は機能しなくなります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (Campaign 照会言語の名前に使用することが標準で禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DisplayName	VARCHAR	NULL	属性の名前。これは、オファー属性で固有であるか、セル属性名で固有である必要があります。カスタム属性の名前はユーザー提供であり、フォームやレポート (例えば、「カスタム属性定義 (Custom attributes definition)」ページなど) でユーザーに表示されるラベルになります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、フリー・フォームの属性の説明。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ObjectType	INTEGER	NULL	この属性を定義するオブジェクトのタイプを指定するシステム生成値。 有効な値: 1 = セッション、2 = キャンペーン、3 = セグメント、4 = オファー、5 = 製品、6 = キューブ、7 = ACO セッション、8 = カスタム・マクロ、9 = ユーザー定義フィールド、10 = トリガー、11 = ターゲット・セル	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
EnumType	INTEGER	NULL	属性がフリー・フォームのテキスト・ボックス (ユーザーが値を入力する) であるか、または固定されたエントリーを持つドロップダウン・リストであるか、あるいはユーザーによってドロップダウン・リストから選択することもほかの値を追加することもできるようになっているかどうかについて、ユーザー指定の動作。追加の値は、固有であることが検査され (大/小文字を区別しない比較)、すべてのユーザーがドロップダウン・リストで選択できるようになります。初期作成後は、タイプは 1 と 2 の間でのみ変更できます。現在、このオプションは列挙型のテキスト・ストリングにのみ使用できます (日付型、数値型、通貨データ型には使用できません)。 有効な値: 0 = 編集のみ、1 = 列挙のみ、2 = 列挙および動的追加	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeType	INTEGER	NULL	カスタム属性用のユーザー指定のデータ型 (システム定義属性の場合、編集できません)。タイプ 5 および 6 は、IBM Marketing Operations または Distributed Marketing からのみ作成可能です。カスタム属性の初期作成後は、この値を変更できません。 有効な値: 1 = 文字列、2 = 数値、3 = 日時、4 = 通貨、5 = プール、6 = 整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
長さ	INTEGER	NULL	数値および通貨データ型に対して表示されるテキスト・ストリングのデータ型の長さおよび精度 (小数点より右側の小数点以下の桁数) のユーザー指定値。日時データ型には使用されません。テキスト・ストリングのカスタム属性の初期作成後、この値は増やすことのみ可能であり、減らすことはできません。数値データ型または通貨データ型の場合、いつでも変更できます。 有効な値: 正整数。数値には最大 16 桁の精度を使用できます	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Retired	INTEGER	NULL	将来の使用のために予約済み。 有効な値: 0 = アクティブ、1 = 回収済み	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SystemDefined	INTEGER	NULL	属性が IBM Campaign に組み込まれた事前定義属性であるかどうかを指定します。すべてのカスタム属性は、0 の値に設定されます。システム定義属性は、システムから削除できません。また、内部名およびデータ型を編集することもできません (説明および長さは編集できます)。 有効な値: 0 = カスタム属性 (ユーザー定義)、1 = システム定義	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを作成したユーザーの IBM Marketing Platform ユーザー ID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの IBM Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreatorFlag	INTEGER	NULL	カスタム属性を作成したアプリケーションを指定します。 有効な値: NULL/0 = Campaign、1 = IBM Marketing Operations (UMO)、2 = IBM Distributed Marketing (DM)	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
isMandatory	INTEGER	NULL	このフラグは、属性が必須であるかどうかを示します。値が 1 の場合、ユーザーは、キャンペーン/オファー/セルを作成する際に、この属性に値を指定する必要があります。 有効な値: 0、1	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 3. UA_AttributeDef のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
sortOrder	INTEGER	NULL	このフラグは、単一選択属性の値のソート順を指定します。 有効な値: 0、1、2、3	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 4. UA_AttributeDef の子テーブル

テーブル名	説明
UA_CampAttribute	このテーブルには、各キャンペーンのキャンペーン・カスタム属性の値が保管されます。
UA_CampToCellAttr	このテーブルは、Campaign へのセル・カスタム属性のマッピングです。そのテーブルの AttributeID は、すべてのセル属性になります。IBM Marketing Operations で作成されたキャンペーンの場合のみ、このテーブルに値が取り込まれます。
UA_CellAttribute	このテーブルには、特定のセルのカスタム・セル属性値が保管されます。これらの値は、ターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) にユーザーによってデータ入力されます。カスタム属性のデータ型に応じて (UA_AttributeDef で指定)、特定の行に対してフィールド (StringValue、NumberValue、DatetimeValue) のうちの 1 つにのみ、値が取り込まれます。属性は AttributeID の順に、ターゲット・セル・スプレッドシートに表示されます。
UA_EnumAttrValues	このテーブルには、UA_AttributeDef.EnumType = 1 または 2 のカスタム属性のすべてのドロップダウン・リスト (列挙) データ値が保持されます。

表 4. UA_AttributeDef の子テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_OfferAttribute	このテーブルには、オファー (システム生成およびカスタム) に関連付けられた、静的属性の値およびパラメーター化された属性のデフォルト値が保管されます。
UA_OfferHistAttrib	このテーブルには、オファーが使用される際に、パラメーター化されたオファー属性にのみ使用される実際の値が保管されます (CH へのログ記録が有効にされたフローチャート実稼働実行で提供)。フローチャートの実行時にデータが挿入されます。
UA_OfferTemplAttr	このテーブルには、特定のオファー・テンプレートに関連付けられたオファー属性値が保管されます。また、各属性を非表示にするか、パラメーター化するか、そのデフォルト値、および表示順序を指定します。UA_AttributeDef テーブルで定義される attributeType に基づいて、StringValue、NumberValue、および DatetimeValue のいずれか 1 つのフィールドにのみ属性の値が含まれることに注意してください。

UA_Calendar

このテーブルには、暦四半期、曜日、週の初日と最終日などについての情報を識別するカレンダー情報が保持されます。これは、経時的なレポートを作成するために使用されます。このテーブルは、実装時に顧客によってカスタマイズされることが想定されています。実装時に、コンタクト履歴で参照される日付が、このテーブルでカバーされる期間内に含まれていることを確認する必要があります。

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DateID	BIGINT	NOT NULL	このテーブルの行の固有 ID。 有効な値: YYYYMMDD の形式で表 される日付	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバ ーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ? いいえ 保存時に保管しますか ? いいえ 実行時に保管しますか ? いいえ 構成に影響されますか ? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Year	INTEGER	NOT NULL	日付の 4 桁の年。 有効な値: 4 桁の正整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FiscalYear	INTEGER	NOT NULL	日付の 4 桁の会計年度。 有効な値: 4 桁の正整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Quarter	INTEGER	NOT NULL	日付が該当する暦四半期 (Q1 は 1 月 1 日から 3 月 31 日まで)。 有効な値: 1 から 4 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FiscalQuarter	INTEGER	NULL	日付が該当する暦四半期。 有効な値: 1 から 4 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Month	INTEGER	NOT NULL	日付が該当する月。 有効な値: 1 から 12 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
WeekOfYear	INTEGER	NOT NULL	日付が該当する週。 有効な値: 1 から 52 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
WeekOfMonth	INTEGER	NOT NULL	特定の月で日付が該当する週。 有効な値: 1 から 5 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DayOfYear	INTEGER	NOT NULL	その年で日付が該当する日。 有効な値: 1 から 366 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DayOfMonth	INTEGER	NOT NULL	その月で日付が該当する日。 有効な値: 1 から 31 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DayOfWeek	INTEGER	NOT NULL	その週で日付が該当する日。 有効な値: 1 から 7 までの整数値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ActualDate	TIMESTAMP	NOT NULL	この行で表示される日付。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FirstDayOfWeek	TIMESTAMP	NOT NULL	この日付が該当する週の初日。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 5. UA_Calendar のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastDayOfWeek	TIMESTAMP	NOT NULL	この日付が該当する週の最終日。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 6. UA_Calendar の子テーブル

テーブル名	説明
UA_ContactHistory	必須のコンタクト・フィールド (AudienceID、CellID、PackageID、ContactDateTime、ContactStatusID など) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー作成のテーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のテーブルがあります。CSP ログイン・テーブルで「コンタクト履歴テーブルに記録」が有効にされている場合、このテーブルに行が書き込まれます。このテーブルは、セル・メンバーシップ情報を取得し、同じ CSP で処理されるセルを packageID で識別します (同じ CSP の同じオーディエンス・エンティティに対してなされるすべてのコンタクトは、同じ「パッケージ」の一部であり、中断を表すものです)。ターゲット・セルと検証制御の両方とも、コンタクト履歴 (CH) に書き込まれます。このテーブルの既存のエントリー (ContactStatus、UpdateDateTime、およびユーザー定義フィールド) は、トラッキング・プロセスを使用して更新できます。トラッキング・プロセスは、このテーブルに新しい行を作成することはできません。このテーブルは、コンタクトのトラッキングに必要です。またこれは、最適化をコンタクトに適用するために、IBM Contact Optimization (ACO) によっても使用されます。この「ベース」コンタクト履歴テーブルでは、UA_Treatment、UA_OfferHistory、および UA_OfferHistAttrib テーブルに同時に値を取り込みます (これらのテーブルはすべて揃って「コンタクト履歴」を構成します)。CSP でコンタクト履歴へのログ記録が無効になっている場合、これらのテーブルには書き込まれません。
UA_DtlContactHist	このテーブルは、同じセル内のそれぞれがすべてまったく同じオファーを受け取るわけではないオファーのパーソナライズ (サブセル) ケースで、どのオファー・バージョンを、どのオーディエンス ID が受け取るかを正確に保管します。それらは、異なる数のオファーまたは異なるオファー・バージョン、あるいはその両方を受け取る場合があります。 UA_Treatment.HasDetailHistory = 1 の場合のみ、このテーブルに行が書き込まれます。
UA_ResponseHistory	必須のレスポンス・トラッキング・フィールド (AudienceID、TreatmentInstID、レスポンス日、レスポンス・タイプなど) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー定義テーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のレスポンス履歴テーブルがあります。このテーブルの行は、レスポンス・プロセスで書き込まれます。

UA_Campaign

このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NOT NULL	キャンペーンのグローバルに固有なシステム生成 ID。キャンペーンが作成されるときに、システムによって割り当てられます。IBM Campaign は、次に使用可能な（固有であると見なされる）値をキャンペーンの UA_IDSByType テーブルから使用します。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	キャンペーンの名前。固有である必要はありません (ただし、固有であることがベスト・プラクティスです)。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、フリー・フォームのキャンペーンの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NULL	キャンペーンが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignCode	VARCHAR	NOT NULL	キャンペーンのグローバル固有コード。デフォルトでは、キャンペーン・コードは、新しいキャンペーンを作成するときに、構成済みのキャンペーン・コード・ジェネレーター (campCodeGenProgFile) を使用して、システムによって生成されます。キャンペーン・コードの長さや形式は、実装時 (campCodeFormat) に指定されます (これら両方の構成パラメーターは、server > systemCodes 構成セクションにあります)。ユーザーは、Campaign によって強制されるコード形式を満たす任意の固有値にキャンペーン・コードを変更できます。キャンペーンを実行した後にこの値を変更すると、キャンペーン・コードが使用される場合に、レスポンス・トラッキングの問題を引き起こす可能性があります。 有効な値: キャンペーン・コード形式に応じて次の値を指定します: n = 0 から 9、a = A から Z、c = A から Z および 0 から 9、x = 任意の文字	32	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
イニシアチブ	VARCHAR	NULL	このキャンペーンに関連付けられたオプションのイニシアチブ。 有効な値: UA_Initiatives テーブルの任意の値。後で UA_Initiatives から値が削除される場合、そのテーブルには表示されない値をここに指定することができます。	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Objectives	VARCHAR	NULL	(オプション) キャンペーンの目標に関するフリー・フォームのテキスト記述。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	キャンペーンが作成された日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	キャンペーンを作成したユーザーの IBM Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの IBM Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
StartDate	TIMESTAMP	NULL	キャンペーンが有効な日付。UI では、これはキャンペーンの「開始日」になります。デフォルト値は「今日」です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
EndDate	TIMESTAMP	NULL	キャンペーンの有効期限日。UI では、これはキャンペーンの「終了日」になります。デフォルト値は、開始日から 1 カ月後です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunDate	TIMESTAMP	NULL	キャンペーンが最後に実行 (キャンペーン内のフローチャートでのフローチャート、ブランチ、プロセスの実行) された日時。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。テスト実行では、この値は更新されません。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunBy	INTEGER	NULL	キャンペーンを最後に実行したユーザーの IBM Marketing Platform ユーザー ID。LastRunDate が更新されると更新されます。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。テスト実行では、この値は更新されません。 有効な値: Marketing Platform の有効な UserID。その後にユーザーが削除されると、値は無効になります。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ProjectID	INTEGER	NULL	IBM Marketing Operations のプロジェクト ID。キャンペーンが Marketing Operations から作成されると、このフィールドに値が取り込まれます。デフォルトでは、この値は NULL です。このキャンペーンとの Marketing Operations のプロジェクトの関連付けが解除されると、このフィールドに NULL が書き込まれます (UnlinkProjectNotification キャンペーン・サービスの呼び出しに基づきます)。 有効な値: NULL、0、または IBM Marketing Operations からの有効な ProjectID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される IBM Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ? いいえ 保存時に保管しますか? ? いいえ 実行時に保管しますか? ? いいえ 構成に影響されますか? ? いいえ

表 7. UA_Campaign のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreatorFlag	INTEGER	NULL	カスタム・キャンペーンを作成したアプリケーションを指定します。 有効な値: • NULL/0 = Campaign。 • 1 = IBM Marketing Operations (UMO)。 • 2 = IBM Distributed Marketing。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 8. UA_Campaign の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

表 9. UA_Campaign の子テーブル

テーブル名	説明
UA_CampAttribute	このテーブルには、各キャンペーンのキャンペーン・カスタム属性の値が保管されます。
UA_CampToCellAttr	このテーブルは、Campaign へのセル・カスタム属性のマッピングです。そのテーブルの AttributeID は、すべてのセル属性になります。IBM Marketing Operations で作成されたキャンペーンの場合のみ、このテーブルに値が取り込まれます。

表 9. UA_Campaign の子テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_CampToOffer	このテーブルには、キャンペーンとその関連オファー（「オファーの追加/削除」リンクをクリックすることによって、「キャンペーン・サマリー」ページからユーザーによって指定されます）とのトップダウンの定義された関係が保管されます。これは多対多マッピングにできます。ボトムアップ・オファー（キャンペーンのフローチャートで使用されるオファー）はこのテーブルには保管されません。
UA_CampToSegment	このテーブルには、キャンペーンとその関連セグメント（「セグメントの追加/削除」リンクをクリックすることによって、「キャンペーン・サマリー」ページからユーザーによって指定されます）とのトップダウンの定義された関係が保管されます。これは多対多マッピングにできます。ボトムアップ・セグメント（キャンペーンのフローチャートで使用される戦略的セグメント）はこのテーブルには保管されません。
UA_Flowchart	このテーブルには、すべてのフローチャートに関する情報が保管されます。システム内の各フローチャートに対して 1 行が保管されます。また、システムで実行中のフローチャート（ステータス）でレポートを作成するためにも使用されます。
UA_TargetCells	このテーブルは、すべてのフローチャートで作成されたターゲット・セルの情報を保管します。ターゲット・セルは出力プロセス（メール・リスト、コール・リスト、推奨、eMessage、スナップショット、または最適化）に添付されるセルとして定義されます。メタデータ情報（名前、コード）、ソース情報（キャンペーン、フローチャートおよびセル ID）、処理データ（割り当てられたオファー/オファー・リストと制御セルかどうかのリスト）、そしてセルがターゲット・セル・スプレッドシート（TCS）でトップダウンで作成されたか、またはフローチャート内でボトムアップで作成されたかを保管します。
UA_Treatment	すべての処理（特定の時点（実行インスタンス）のオファー・バージョンとターゲット・セルの交差部分）と関連データを保管します。複数オファーがセルに割り当てられた場合、処理テーブルに複数行があります（セルに与えられたオファー・バージョンごとに 1 つの処理）。オファーのパersonライズが使用された場合、使用されたオファー属性（オファー・バージョン）の固有の順列それぞれに処理が作成されます（そして HasDetailHistory=1 およびコンタクト情報は別のテーブル UA_DtlContactHistory に保管されます）。このデータは、ロギングが使用可能なときにのみ、CSP の実稼働実行中に取り込まれます。
UA_OptimizeProcess	このテーブルのエントリは、Campaign フローチャートに表示される単一の最適化プロセス・ボックスを表します。

UA_AnnotationInfo

このテーブルには、ユーザーによって作成および編集される注釈のデータが入れます。新しい注釈が作成されるか、更新されて、フローチャートが保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。各プロセス・ボックスで使用できる注釈は、最大 1 個です。

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartID	BIGINT	NOT NULL	注釈が作成されるフローチャートのグローバルに固有なシステム生成 ID を表します。FlowchartID は、このテーブルの複合 1 次キーの一部を形成します。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AnchorID	BIGINT	NOT NULL	フローチャートの範囲で固有の、アンカー (注釈を所有するフローチャート内のオブジェクト) のシステム生成 ID を表します。AnchorID は、このテーブルの複合 1 次キーの一部を形成します。アンカーとしてのプロセスのみがサポートされます。 有効な値: フローチャート・レベルの固有の正整数	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AnchorType	INTEGER	NOT NULL	アンカー (注釈を所有するフローチャート内のオブジェクト) のタイプを表します。AnchorType は、このテーブルの複合 1 次キーの一部を形成します。アンカーとしてのプロセスのみがサポートされます。 有効な値: 1	10	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreationDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreatedBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastUpdated	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreationDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
X	INTEGER	NULL	フローチャートにおける注釈の場所を表す X 座標。注: これは保存されますが、現在使用されていません。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Y	INTEGER	NULL	フローチャートにおける注釈の場所を表す Y 座標。注: これは保存されますが、現在使用されていません。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IsVisible	INTEGER	NULL	注釈の表示可能なフラグ。 有効な値: 0 および 1	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 10. UA_AnnotationInfo のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Content	VARCHAR	NULL	ユーザーが入力する注釈の内容 (テキスト) 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

UA_CampAttribute

このテーブルには、各キャンペーンのキャンペーン・カスタム属性の値が保管されます。

表 11. UA_CampAttribute のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NOT NULL	この属性値が関連付けられるキャンペーンの CampaignID。 有効な値: UA_Campaign テーブルに 任意の有効な CampaignID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?いいえ

表 11. UA_CampAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	値が保管されているキャンペーン属性の AttributeID。 有効な値: ObjectType がキャンペーンである UA_AttributeDef テーブルの任意の有効な AttributeID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 11. UA_CampAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
StringValue	VARCHAR	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: フリー・フォーム・テキスト (UA_AttributeDef.EnumType = 0) または変更可能なドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 2) の場合、任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。固定のドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 1) の場合、この値は AttributeID の UA_EnumAttrValues に保管された値の 1 つである必要があります。	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 11. UA_CampAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberValue	DOUBLE	NULL	有効な値: 有効な数値	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?いいえ

表 11. UA_CampAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 12. UA_CampAttribute の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときにのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。

表 12. UA_CampAttribute の親テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_AttributeDef	UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

UA_CampToCellAttr

このテーブルは、Campaign へのセル・カスタム属性のマッピングです。そのテーブルの AttributeID は、すべてのセル属性になります。IBM Marketing Operations で作成されたキャンペーンの場合のみ、このテーブルに値が取り込まれます。

表 13. UA_CampToCellAttr のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NOT NULL	AttributeID に関連付けられたキャンペーンの CampaignID。 有効な値: CreatorFlag = 1 である UA_Campaign テーブルの任意の有効な CampaignID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 13. UA_CampToCellAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	CampaignID に関連付けられたセル属性の AttributeID。(これらの関係は、IBM Marketing Operations で作成されるキャンペーン・プロジェクト・テンプレートで定義されます。) 有効な値: ObjectType がセルである UA_AttributeDef テーブルの任意の有効な AttributeID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 14. UA_CampToCellAttr の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときにのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。
UA_AttributeDef	UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

UA_CampToOffer

このテーブルには、キャンペーンとその関連オファー（「オファーの追加/削除」リンクをクリックすることによって、「キャンペーン・サマリー」ページからユーザーによって指定されます）とのトップダウンの定義された関係が保管されます。これは多対多マッピングにできます。ボトムアップ・オファー（キャンペーンのフローチャートで使用されるオファー）はこのテーブルには保管されません。

表 15. UA_CampToOffer のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NOT NULL	CampaignID に関連付けられたオファーの OfferID。ユーザーは、オファー・ツリー階層からオファーまたはオファー・リストを選択します。IBM Campaign は、すべてのオファー・リストまたはオファーの名前と OfferID を解決し、それらを自動的に保管します。回収されたオファーは選択できませんが、キャンペーンと関連付けられた後にオファーが回収される場合は、「(回収済み)」の標識とともに表示されます。 有効な値: UA_Offer に任意の有効な OfferID 値	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 15. UA_CampToOffer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NOT NULL	OfferID に関連付けられたキャンペーンの CampaignID。これは、常に現在のキャンペーンの ID になります (「オファーの追加/削除」リンクにアクセスするために使用される「キャンペーン・サマリー」ページのキャンペーン ID)。 有効な値: UA_Campaign テーブルからの任意の有効な CampaignID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 16. UA_CampToOffer の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。

UA_CampToSegment

このテーブルには、キャンペーンとその関連セグメント（「セグメントの追加/削除」リンクをクリックすることによって、「キャンペーン・サマリー」ページからユーザーによって指定されます）とのトップダウンの定義された関係が保管されます。これは多対多マッピングにできます。ボトムアップ・セグメント（キャンペーンのフローチャートで使用する戦略的セグメント）はこのテーブルには保管されません。

表 17. UA_CampToSegment のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NOT NULL	SegmentID に関連付けられたキャンペーンの CampaignID。これは、常に現在のキャンペーンの ID になります（「セグメントの追加/削除」リンクにアクセスするために使用される「キャンペーン・サマリー」ページのキャンペーン ID）。 有効な値: UA_Campaign テーブルからの任意の有効な CampaignID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 17. UA_CampToSegment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentID	BIGINT	NOT NULL	CampaignID に関連付けられた戦略的セグメントの SegmentID。ユーザーは、セグメント・ツリー階層からセグメントを選択します。AC には、これらの SegmentID が自動的に保管されます。 **非アクティブなセグメント (ActiveFlag = 0) は選択できません。非アクティブなセグメントはすべて、関連付けられたキャンペーンの「キャンペーン・サマリー」ページに表示されなくなります。 有効な値: UA_Segment テーブルからの任意の有効な SegmentID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 18. UA_CampToSegment の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。

UA_CCRunLog

このテーブルには、フローチャートが実稼働で実行されるたびにフローチャートの実行履歴が記録されます (テスト実行では記録されません)。新しいフローチャートが実行されるたびに、固有の RunID が生成されます (ブランチ/プロセスの実行時には生成されません)。開始/終了の日時、およびフローチャートを実行したユーザーが記録されます。IBM Distributed Marketing の実行の場合、リモート・ユーザーに関する情報も記録されます。

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunID	BIGINT	NOT NULL	バッチ・フローチャートに対してフローチャートが実行されるたびに生成される、グローバルに固有な ID (IDsbyType から生成)。対話式フローチャートで変更が保存されることに増分します。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartID	BIGINT	NOT NULL	実行されたフローチャートの外部キーID。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RemoteUserName	VARCHAR	NULL	このフローチャートを実行した IBM Distributed Marketing ユーザーのユーザー名。フローチャートが Distributed Marketing を使用して実行されなかった場合、NULL になります。 有効な値: IBM Marketing Platform の有効なユーザー名。 **ユーザー名が Marketing Platform で後から変更された場合、この値は Marketing Platform には存在なくなり、誤ったユーザーを参照する可能性があります。	32	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LocalUserName	VARCHAR	NULL	フローチャートを実行するために使用された OS ユーザー (構成済みの静的ユーザー) のユーザー名。 有効な値: 構成済み IBM Distributed Marketing 「システム・ユーザー」の代替ログイン	32	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunStartTime	TIMESTAMP	NULL	フローチャートの実行が開始されたシステム日付。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunEndTime	TIMESTAMP	NULL	フローチャートの実行が停止されたシステム日付。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunStatus	VARCHAR	NULL	フローチャート実行のステータス。 「成功」は、フローチャートがエラーなしで終了したこと意味します。「失敗」は、フローチャートが 1 つ以上のエラーとともに終了したことを意味します。「実行中」は、フローチャートが現在実行されていることを意味します。「無効」は、フローチャートが実行されていないことを意味します。 有効な値: 「成功」、「失敗」、「実行中」、「無効」	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunBy	BIGINT	NULL	フローチャートを実行したユーザーの IBM Marketing Platform ユーザー ID (IBM Distributed Marketing フローチャートの RemoteUserName に対応)。 有効な値: Marketing Platform の有効な UserID **後で Marketing Platform ユーザーが削除された場合、値は無効になる可能性があります。	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 19. UA_CCRunLog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunType	INTEGER	NOT NULL	Campaign セッション実行タイプの外部キー ID 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 20. UA_CCRunLog の親テーブル

テーブル名	説明
UA_SesnRunType	これは、Campaign セッション実行タイプを列挙します (テスト・モードは除く)

表 21. UA_CCRunLog の子テーブル

テーブル名	説明
UA_Treatment	すべての処理 (特定の時点 (実行インスタンス) のオファー・バージョンとターゲット・セルの交差部分) と関連データを保管します。複数オファーがセルに割り当てられた場合、処理テーブルに複数行があります (セルに与えられたオファー・バージョンごとに 1 つの処理)。オファーのパersonalライズが使用された場合、使用されたオファー属性 (オファー・バージョン) の固有の順列それぞれに処理が作成されます (そして HasDetailHistory=1 およびコンタクト情報は別のテーブル UA_DtlContactHistory に保管されます)。このデータは、ロギングが使用可能なときのみ、CSP の実稼働実行中に取り込まれます。
UA_RunResult	Distributed Marketing フローチャートを実行するごとに、ここにレコードが作成されます。

UA_CellAttribute

このテーブルには、特定のセルのカスタム・セル属性値が保管されます。これらの値は、ターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) にユーザーによってデータ入力されます。カスタム属性のデータ型に応じて (UA_AttributeDef で指定)、特定の行に対してフィールド (StringValue、NumberValue、DatetimeValue) のうちの 1 つにのみ、値が取り込まれます。属性は AttributeID の順に、ターゲット・セル・スプレッドシートに表示されます。

表 22. UA_CellAttribute のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	特定のセル (CellID で指定) に値を入力するカスタム・セル属性の AttributeID。このテーブルのすべての AttributeID について、UA_AttributeDef.ObjectType は 11 (ターゲット・セル) である必要があります。 有効な値: UA_AttributeDef の有効な AttributeID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 22. UA_CellAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellID	BIGINT	NOT NULL	属性 ID が保管されるセル ID。 有効な値: UA_TargetCells からの有効な CellID 値	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 22. UA_CellAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
StringValue	VARCHAR	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: フリー・フォーム・テキスト (UA_AttributeDef.EnumType = 0) または変更可能なドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 2) の場合、任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。固定のドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 1) の場合、この値は AttributeID の UA_EnumAttrValues に保管された値の 1 つである必要があります。	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 22. UA_CellAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberValue	DOUBLE	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な数値	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 22. UA_CellAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 23. UA_CellAttribute の親テーブル

テーブル名	説明
UA_TargetCells	このテーブルは、すべてのフローチャートで作成されたターゲット・セルの情報を保管します。ターゲット・セルは出力プロセス (メール・リスト、コール・リスト、推奨、eMessage、スナップショット、または最適化) に添付されるセルとして定義されます。メタデータ情報 (名前、コード)、ソース情報 (キャンペーン、フローチャートおよびセル ID)、処理データ (割り当てられたオファー/オファー・リストと制御セルかどうかのリスト)、そしてセルがターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) でトップダウンで作成されたか、またはフローチャート内でボトムアップで作成されたかを保管します。

表 23. UA_CellAttribute の親テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_AttributeDef	UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

UA_ContactHistory

必須のコンタクト・フィールド

(AudienceID、CellID、PackageID、ContactDateTime、ContactStatusID など) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー作成のテーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のテーブルがあります。CSP ロギング・テーブルで「コンタクト履歴テーブルに記録」が有効にされている場合、このテーブルに行が書き込まれます。このテーブルは、セル・メンバーシップ情報を取得し、同じ CSP で処理されるセルを packageID で識別します (同じ CSP の同じオーディエンス・エンティティに対してなされるすべてのコンタクトは、同じ「パッケージ」の一部であり、中断を表すものです)。ターゲット・セルと検証制御の両方とも、コンタクト履歴 (CH) に書き込まれます。このテーブルの既存のエントリ (ContactStatus、UpdateDateTime、およびユーザー定義フィールド) は、トラッキング・プロセスを使用して更新できます。トラッキング・プロセスは、このテーブルに新しい行を作成することはできません。このテーブルは、コンタクトのトラッキングに必要です。またこれは、最適化をコンタクトに適用するために、IBM Contact Optimization (ACO) によっても使用されます。この「ベース」コンタクト履歴テーブルでは、UA_Treatment、UA_OfferHistory、および UA_OfferHistAttrib テーブルに同時に値を取り込みます (これらのテーブルはすべて揃って「コンタクト履歴」を構成します)。CSP でコンタクト履歴へのログ記録が無効になっている場合、これらのテーブルには書き込まれません。

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CustomerID	BIGINT	NOT NULL	このフィールドは、オーディエンス・レベルを表します (1 つ以上のフィールドで構成されます)。これらのフィールドは、入力セルの現在の着信オーディエンス・レベルに基づいて自動的に出力されます。 有効な値: 任意の有効なオーディエンス ID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellID	BIGINT	NOT NULL	IBM Campaign は、AudienceID が属する着信セルの CellID にデータを自動的に取り込みます。同じ AudienceID が複数のセルのメンバーになっている場合、その AudienceID は、メンバーとなっているセルごとに、このテーブルに 1 行を確保します。 有効な値: UA_TargetCells に任意の有効な CellID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PackageID	BIGINT	NOT NULL	これは、同じ CSP で扱う複数のセルを 1 つにまとめるグローバルに固有な ID で、パッケージ (または中断) の概念を表します。1 つの CSP で使用されるすべてのオファーを同じチャンネルにまとめるかはユーザー次第です (強制ではありません)。まとめない場合、PackageID はオーディエンス ID に対する「中断」を正しく表しません。PackageID は ProcessID および RunID に基づきます。これは、フローチャートの各実行によって変わります (ブランチやプロセスの実行では変わりません)。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ContactDateTime	TIMESTAMP	NULL	コミュニケーションがオーディエンス ID に到着する予定の日時 (例えば、ダイレクト・メールが届く日付)。デフォルト値は、CSP の実行日時ですが、ユーザーは CSP でこの値を設定できます (「ログ」タブの「詳細オプション」の下にある「コンタクト日付」フィールド)。この値は 1 つの CSP で提供されるすべてのオファーに対する定数値になります (1 つの中断を表す必要があるため)。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDateTime	TIMESTAMP	NULL	このフィールドには、この行がトラッキング・プロセス (通常、ContactStatusID を更新します) によって更新された最新の日付/時刻が入れます。行の初期作成時の CreateDateTime と同様です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ContactStatusID	BIGINT	NULL	ContactStatusID 値は、オーディエンス ID のコンタクト・ステータスを示します。コンタクト・ステータスは、実装によってカスタマイズできます。また、デフォルト値は UA_ContactStatus テーブルに収めて出荷されます。デフォルトのコンタクト・ステータス (すべての CSP タイプに 1 つの値) は、UA_ContactStatus.IsDefault = 1 で指定されています。 有効な値: UA_ContactStatus テーブルに有効な ContactStatusID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DateID	BIGINT	NULL	UA_Date テーブルからの日付情報を表す日付 ID 有効な値: UA_Date テーブルからの有効な DateID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TimeID	BIGINT	NULL	UA_Time テーブルからの時間 ID 情報 有効な値: UA_Time テーブルからの有効な TimeID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UserDefinedFields	CHAR	NULL	これは、このテーブルの 1 つ以上のユーザー定義列のプレースホルダーです (追加でトラッキングするフィールド)。これらのフィールドには、「ログ」タブの「詳細オプション」を使用して CSP またはトラッキング・プロセスから値を取り込むことができます。 有効な値: データ型に基づいて DB によって受け入れられる任意の値。	18	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ValueBefore	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポート に使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

表 24. UA_ContactHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UsageBefore	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポートに使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 25. UA_ContactHistory の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Time	このテーブルには、特定の時間の時と分に関する情報を識別する時間情報が保持されます。これは、レポートを作成するために使用されます。このテーブルには、実装のセットアップの一部として値を取り込む必要があります。
UA_ContactStatus	このテーブルには、コンタクト履歴に記録するために使用できる有効なコンタクト・ステータス (実装時に定義) が入れられます。デフォルトのコンタクト・ステータス (IsDefault = 1) として指定した 1 行が必要です。コンタクト・ステータスの作成、表示、または更新用の GUI はありません。システム・テーブルで直接保守する必要があります。
UA_Calendar	このテーブルには、暦四半期、曜日、週の初日と最終日などについての情報を識別するカレンダー情報が保持されます。これは、経時的なレポートを作成するために使用されます。このテーブルは、実装時に顧客によってカスタマイズされることが想定されています。実装時に、コンタクト履歴で参照される日付が、このテーブルでカバーされる期間内に含まれていることを確認する必要があります。

UA_ContactStatus

このテーブルには、コンタクト履歴に記録するために使用できる有効なコンタクト・ステータス (実装時に定義) が入れられます。デフォルトのコンタクト・ステータス (IsDefault = 1) として指定した 1 行が必要です。コンタクト・ステータスの作成、表示、または更新用の GUI はありません。システム・テーブルで直接保守する必要があります。

表 26. UA_ContactStatus のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ContactStatusID	BIGINT	NOT NULL	コンタクト・ステータスを表すシステム生成の固有 ID。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 26. UA_ContactStatus のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	コンタクト・ステータスを識別するユーザー提供の固有名。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。「キャンペーン送信」、「配信済み」、「未配信」、「制御」の値が事前定義されています (その他の値を追加することもできます)。	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 26. UA_ContactStatus のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	コンタクト・ステータスを説明するオプションの説明テキスト。 **現在、エンド・ユーザーに使用/表示される場所はありません 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 26. UA_ContactStatus のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ContactStatusCode	VARCHAR	NULL	CSP またはトラッキング・プロセスにコンタクト・ステータス値を入力するために使用できるコード。 有効な値: 任意の有効な文字列 (A から Z まで、および 0 から 9 までのみを使用することがベスト・プラクティスです)。 CSD、DLV、UNDLV、CTRL の値が事前定義されています (その他の値を追加することもできます)。これらの値は、「名前」フィールドに事前定義されたレスポンス・タイプに対応します (CSD = キャンペーン送信、DLV = 配信済み、UNDLV = 未配信、CTRL = 制御)。	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 26. UA_ContactStatus のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CountsAsContact	INTEGER	NULL	このコンタクト・ステータスが受信者へのコンタクトとしてカウントされるかどうかを指定します。レポートを作成するために使用され、コンタクトの負担を管理するために IBM Contact Optimization によっても使用されます。 有効な値: 0 = 成功したコンタクトとしてカウントしません。 1 = 成功したコンタクトとしてカウントします。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 26. UA_ContactStatus のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Defaults	INTEGER	NULL	UA_ContactStatus テーブルの 1 行は、1 の値である必要があります。また、別の 1 行の値が 2 である必要があります (制御のため)。残りの行の値は 0 でなければなりません。値として 1 が指定された行は、CSP およびトラッキング・プロセスによって書き込まれるデフォルトのコンタクト・ステータスとして使用されます (ユーザーによりオーバーライド可能)。値として 2 が指定された行は、制御のためにデフォルトのコンタクト・ステータスとして使用されます。 有効な値: 0 = デフォルトではありません、1 = デフォルト、2 = 制御用のデフォルト・コンタクト・ステータス	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 27. UA_ContactStatus の子テーブル

テーブル名	説明
UA_ContactHistory	必須のコンタクト・フィールド (AudienceID、CellID、PackageID、ContactDateTime、ContactStatusID など) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー作成のテーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のテーブルがあります。CSP ロギング・テーブルで「コンタクト履歴テーブルに記録」が有効にされている場合、このテーブルに行が書き込まれます。このテーブルは、セル・メンバーシップ情報を取得し、同じ CSP で処理されるセルを packageID で識別します (同じ CSP の同じオーディエンス・エンティティに対してなされるすべてのコンタクトは、同じ「パッケージ」の一部であり、中断を表すものです)。ターゲット・セルと検証制御の両方とも、コンタクト履歴 (CH) に書き込まれます。このテーブルの既存のエントリー (ContactStatus、UpdateDateTime、およびユーザー定義フィールド) は、トラッキング・プロセスを使用して更新できます。トラッキング・プロセスは、このテーブルに新しい行を作成することはできません。このテーブルは、コンタクトのトラッキングに必要です。またこれは、最適化をコンタクトに適用するために、IBM Contact Optimization (ACO) によっても使用されます。この「ベース」コンタクト履歴テーブルでは、UA_Treatment、UA_OfferHistory、および UA_OfferHistAttrib テーブルに同時に値を取り込みます (これらのテーブルはすべて揃って「コンタクト履歴」を構成します)。CSP でコンタクト履歴へのログ記録が無効になっている場合、これらのテーブルには書き込まれません。
UA_DtlContactHist	このテーブルは、同じセル内のそれぞれがすべてまったく同じオファーを受け取るわけではないオファーのパーソナライズ (サブセル) ケースで、どのオファー・バージョンを、どのオーディエンス ID が受け取るかを正確に保管します。それらは、異なる数のオファーまたは異なるオファー・バージョン、あるいはその両方を受け取る場合があります。 UA_Treatment.HasDetailHistory = 1 の場合のみ、このテーブルに行が書き込まれます。

UA_CustomMacros

このテーブルには、ユーザーおよびフローチャート全体で再使用するためのカスタム・マクロが保管されます。これには、照会名、照会 (未加工 SQL または IBM Campaign マクロ言語を使用できます)、および説明が保管されます。カスタム・マクロは、入力パラメーターを使用したり、各オーディエンス ID でデータ値を返したりできます。

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NOT NULL	カスタム・マクロが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	マクロ名。この名前は、グローバルに固有である必要があります。カスタム・マクロに入力パラメーターが必要な場合は、コンマ区切りで指定し、括弧内にリストする必要があります。例: "MySumGroupBy(id, table, field)" 有効な値: 任意のテキスト文字 (IBM Campaign 式の名前に使用することが標準で禁止されている特殊名前文字は除く)	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	特定のユーザー定義フィールドの最初の行にあるカスタム・マクロのオプション説明。 predicateexpr がフィールドの長さを超えて、複数の行にわたって保管されている場合のみ、インデックス番号 (2 から n) が入れられます。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに使用することが標準で禁止されている特殊文字は除く)、または 2 から n までの数字	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
式	VARCHAR	NULL	マクロ式を表すテキスト。変数名は不等号括弧で囲む必要があります。例: "Select <id>, sum(<field>) from table <table> group by <id>" 有効な値: 任意の有効な SQL または IBM Campaign 言語式	2000	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ExpressionType	INTEGER	NULL	式のタイプ (カスタム・マクロを作成するときにユーザーによって指定されます)。式には、マッチングしてマージしたオーディエンス ID のリストを返す IBM Campaign 言語式、ID リストを返す未加工 SQL 式、ペアにされた ID と値 (テキストまたは数値) を返す未加工 SQL 式、または未加工 SQL フラグメント (テキスト置換として貼り付けられたもの) を使用できます。 有効な値: 0 = Affinium、1=SQL リスト、2 = SQL 値	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DataSrcName	VARCHAR	NULL	データ・ソースの名前。 「Affinium」(IBM Campaign) 式タイプを使用する場合、このフィールドには値は取り込まれません。構成されたデータ・ソース名は、選択するためにユーザーに表示されます。 有効な値: 有効なデータ・ソース名。 dbconfig.lis で構成します	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DataVarType	INTEGER	NULL	未加工 SQL 式で返されるデータ値が数値のデータ型か文字列のデータ型であるかを指定します。ExpressionType = 2 の場合、必須です。 有効な値: 7 = 数値、8 = テキスト	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DataVarNBytes	INTEGER	NULL	返されるデータ値の長さ (バイト単位)。ExpressionType = 2 の場合、必須です。 有効な値: 正整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	カスタム・マクロが作成された日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	マクロを作成したユーザーの IBM Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの IBM Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される IBM Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 28. UA_CustomMacros のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 29. UA_CustomMacros の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

UA_DerivedField

このテーブルには、ユーザーおよびフローチャート全体で再使用するためのユーザー定義フィールドが保管されます。名前、定義、および説明が保管されます。キャンペーン内に作成された新しいユーザー定義フィールドは、「ユーザー定義フィールドの作成」ウィンドウを使用して、このテーブルに保管されます。述部式が長くなる場合は、説明フィールドを数値インデックスとして使用して複数の行をまとめることによって、複数の行にまたがって記述することができます。

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NOT NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	ユーザー定義フィールドの名前。保管するフォルダー内で固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (IBM Campaign 式の名前に使用することが標準で禁止されている特殊名前文字は除く)。	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	特定のユーザー定義フィールドの最初の行にあるユーザー定義フィールドのオプション説明。 predicateexpr がフィールドの長さを超えて、複数の行にわたって保管されている場合のみ、インデックス番号 (2 から n) が入れられます。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに使用することが標準で禁止されている特殊文字は除く)、または 2 から n までの数字	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
predicateexpr	VARCHAR	NULL	ユーザー定義フィールドの IBM Campaign 言語式定義。 有効な値: IBM Campaign マクロ式で使用可能な文字。	2000	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	ユーザー定義フィールドが作成された日時 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	ユーザー定義フィールドを作成したユーザーの IBM Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 30. UA_DerivedField のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 31. UA_DerivedField の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

UA_DtlContactHist

このテーブルは、同じセル内のそれぞれがすべてまったく同じオファーを受け取るわけではないオファーのパーソナライズ (サブセル) ケースで、どのオファー・バージョンを、どのオーディエンス ID が受け取るかを正確に保管します。それらは、異なる数のオファーまたは異なるオファー・バージョン、あるいはその両方を受け取る場合があります。UA_Treatment.HasDetailHistory = 1 の場合のみ、このテーブルに行が書き込まれます。

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CustomerID	BIGINT	NOT NULL	このフィールドは、オーディエンス・レベルを表します (1 つ以上のフィールドで構成されます)。これらのフィールドは、入力セルの現在の着信オーディエンス・レベルに基づいて自動的に出力されます。 有効な値: 任意の有効なオーディエンス ID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TreatmentInstID	BIGINT	NOT NULL	特定のオファー・バージョンおよびオファーのパーソナライズでの実行インスタンスの使用を識別する処理インスタンス ID。 有効な値: UA_Treatment テーブルに任意の有効な TreatmentInstID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ContactStatusID	BIGINT	NULL	ContactStatusID 値は、オーディエンス ID のコンタクト・ステータスを示します。コンタクト・ステータスは、実装によってカスタマイズできます。また、デフォルト値は UA_ContactStatus テーブルに収めて出荷されます。 **デフォルトのコンタクト・ステータス (すべての CSP タイプに 1 つの値) は、UA_ContactStatus.IsDefault = 1 で指定されています。 有効な値: UA_ContactStatus テーブルに有効な ContactStatusID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ContactDateTime	TIMESTAMP	NULL	このフィールドは、コミュニケーションがオーディエンス ID に到着する予定の日時 (例えば、ダイレクト・メールが届く日付) を表します。デフォルト値は、CSP の実行日時ですが、ユーザーは CSP でこの値を設定できます (「ログ」タブの「詳細オプション」ボタンの下にある「コンタクト日付」フィールド)。この値は 1 つの CSP で提供されるすべてのオファーに対する定数値になります (1 つの中断を表す必要があるため)。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDateTime	TIMESTAMP	NULL	このフィールドには、この行がトラッキング・プロセス (通常、ContactStatusID を更新します) によって更新された最新の日付/時刻が入れます。行の初期作成時の CreateDateTime と同様です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UserDefinedFields	CHAR	NULL	これは、このテーブルの 1 つ以上のユーザー定義列のプレースホルダーです (追加でトラッキングするフィールド)。これらのフィールドには、「ログ」タブの「詳細オプション」ボタンを使用して CSP またはトラッキング・プロセスから値を取り込むことができます。 有効な値: データ型に基づいて DB によって受け入れられる任意の値。	18	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DateID	BIGINT	NOT NULL	UA_Date テーブルからの日付情報を表す日付 ID 有効な値: UA_Date テーブルからの有効な DateID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TimeID	BIGINT	NOT NULL	UA_Time テーブルからの時間 ID 情報 有効な値: UA_Time テーブルからの有効な TimeID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ValueBefore	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポート に使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

表 32. UA_DtlContactHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UsageBefore	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポートに使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 33. UA_DtlContactHist の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Time	このテーブルには、特定の時間の時と分に関する情報を識別する時間情報が保持されます。これは、レポートを作成するために使用されます。このテーブルには、実装のセットアップの一部として値を取り込む必要があります。
UA_ContactStatus	このテーブルには、コンタクト履歴に記録するために使用できる有効なコンタクト・ステータス (実装時に定義) が入れられます。デフォルトのコンタクト・ステータス (IsDefault = 1) として指定した 1 行が必要です。コンタクト・ステータスの作成、表示、または更新用の GUI はありません。システム・テーブルで直接保守する必要があります。
UA_Calendar	このテーブルには、暦四半期、曜日、週の初日と最終日などについての情報を識別するカレンダー情報が保持されます。これは、経時的なレポートを作成するために使用されます。このテーブルは、実装時に顧客によってカスタマイズされることが想定されています。実装時に、コンタクト履歴で参照される日付が、このテーブルでカバーされる期間内に含まれていることを確認する必要があります。

UA_EnumAttrValues

このテーブルには、UA_AttributeDef.EnumType = 1 または 2 のカスタム属性のすべてのドロップダウン・リスト (列挙) データ値が保持されます。

表 34. UA_EnumAttrValues のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	値が属している AttributeID。 有効な値: UA_AttributeDef に任意の有効な AttributeID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?いいえ

表 34. UA_EnumAttrValues のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	属性値のオプションの説明。 有効な値: フリー・フォーム・テキスト (UA_AttributeDef.EnumType = 0) または変更可能なドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 2) の場合、任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。固定のドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 1) の場合、この値は AttributeID の UA_EnumAttrValues に保管された値の 1 つであることが必要です。	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 34. UA_EnumAttrValues のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
StringValue	VARCHAR	NULL	StringValue、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 34. UA_EnumAttrValues のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberValue	DOUBLE	NULL	StringValue、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な数値	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 34. UA_EnumAttrValues のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	StringValue、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 34. UA_EnumAttrValues のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
isDefault	INTEGER	NULL	このフラグは、値がタイプ「単一選択」の属性のデフォルト値かどうかを示します。 有効な値: 0、1	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 35. UA_EnumAttrValues の親テーブル

テーブル名	説明
UA_AttributeDef	UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

UA_Flowchart

このテーブルには、すべてのフローチャートに関する情報が保管されます。システム内の各フローチャートに対して 1 行が保管されます。また、システムで実行中のフローチャート (ステータス) でレポートを作成するためにも使用されます。

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartID	BIGINT	NOT NULL	フローチャートの固有 ID。この ID は、フローチャートが作成されたときにシステムによって割り当てられます。 有効な値: UA_Flowchart テーブルに任意の有効な FlowchartID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TempFlag	INTEGER	NOT NULL	有効な値: 0 = 永続的な行、1 = フローチャートの編集時に作成される一時的な行	10	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	フローチャートの名前。キャンペーン内で固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	フローチャートのオプションの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SessionID	BIGINT	NULL	このフローチャートが関連付けられるセッションのセッション ID。フローチャートがセッションの一部である場合にのみ、値が取り込まれます。単一の行では SessionID または CampaignID の (両方ではなく) いずれかのみ値が取り込まれます。 有効な値: UA_Session テーブルからの有効な SessionID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartType	VARCHAR	NULL	フローチャートのタイプ (バッチまたはリアルタイム)。「イベント処理」は対話式フローチャートです。IBM Campaign Interact がインストールされていて、フローチャートを作成するときにのみ、オプションとして使用できます。 有効な値: 「バッチ」、「イベント処理」	32	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Status	VARCHAR	NULL	フローチャートのステータス。これは、フローチャートの現在の状態を指定します。実行している (「実行中」)、実行してエラーなしで成功した (「成功」)、実行して終了したがエラーが発生した (「失敗」)、実行を待機している (スケジュール・プロセスの待機中) (「待機中」)、実行中に一時停止した (「一時停止」)、または実行していない (「無効」) のいずれかを示します。 有効な値: 「成功」、「失敗」、「実行中」、「待機中」、「一時停止」、「無効」	16	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	フローチャートを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunStartDate	TIMESTAMP	NULL	このフローチャートに対する実行が最後に開始されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunEndDate	TIMESTAMP	NULL	このフローチャートに対する実行が最後に終了したサーバー日時。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunBy	INTEGER	NULL	このフローチャートを最後に実行したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。 有効な値: Marketing Platform の有効な UserID **後で Marketing Platform ユーザーが削除された場合、値は無効になる可能性があります。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FileName	VARCHAR	NULL	フローチャートの構成およびデータを含むサーバー・バイナリー・ファイルの名前 (例: MyFlowchart.ses) 有効な値: オペレーティング・システムの有効なファイル名	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DataSources	VARCHAR	NULL	フローチャートで使用するすべてのデータ・ソースのリスト。各データ・ソースはコンマで区切ります (例: 「datasource1, datasource2, datasource3」)。このリストは、フローチャートを開くとき、または実行するときに、各データ・ソースへの有効なログインを取得するために使用されます。例えば、ユーザーがキャンペーン (すべてのフローチャート) を実行する際に、各フローチャートのリストをマージして、重複を除去することができます。また、ユーザーの Marketing Platform プロファイルから使用できなかった場合、ログイン時にプロンプトが表示されます。 有効な値: dbconfig.lis で定義される有効なデータ・ソース	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NULL	このフローチャートが関連付けられるキャンペーンのキャンペーン ID。フローチャートがキャンペーンの一部である場合にのみ、値が取り込まれます。単一の行では、SessionID または CampaignID の (両方ではなく) にいずれかのみ値が取り込まれます。 有効な値: UA_Campaign テーブルからの有効なキャンペーン ID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 36. UA_Flowchart のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 37. UA_Flowchart の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Session	キャンペーンに作成されたセッションに関する情報を保管します。
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときにのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。

UA_FlowchartSeg

このテーブルには、セグメントとフローチャートのすべての関係が入れられます。フローチャートによってセグメントが作成される、またはセグメントがフローチャートによって単に参照されるときに (両方の場合もあります)、定義されます。このテーブルを作成することによって、FK 関係を DB レベルで強制することができます。

表 38. UA_FlowchartSeg のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentID	BIGINT	NOT NULL	セグメントの固有 ID。この ID は、セグメントが作成されたときにシステムによって割り当てられます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 38. UA_FlowchartSeg のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartID	BIGINT	NOT NULL	特定のセグメントを参照するフローチャート ID。 有効な値: UA_Flowchart テーブルに任意の有効な FlowchartID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 38. UA_FlowchartSeg のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RefType	INTEGER	NOT NULL	RefType は UA_FlowchartSeg テーブルを UA_SegRefType テーブルと結び付けます。この列は、フローチャートがセグメントを参照する方法を定義します。例えば、いくつかのフローチャートはセグメントを作成し、他のフローチャートは既存のセグメントを使用するとします。バッチ・フローチャートの値は、常に 1 (作成者) になります。IBM Interact が環境に組み込まれていない限り、バッチ・フローチャートの値が 2 (リファレンサー) になることはありません。2 の値は、対話式フローチャートにのみ使用されます。 有効な値: 1 = 作成者、2 = リファレンサー	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 39. UA_FlowchartSeg の親テーブル

テーブル名	説明
UA_SegRefType	有効な参照タイプを使用して値が事前に取り込まれているルックアップ・テーブル。
UA_Segment	このテーブルには、セグメントの作成プロセスによって作成された戦略的セグメントに関する情報が保管されます。セグメントの作成プロセスが作成され、フローチャートで保存されると、値が取り込まれます。その後、セグメントの作成プロセスが実行されると、更新されます。セグメントの作成プロセス・ボックスを含むフローチャートが編集または実行されている間、行の一時コピーが作成されます (TempFlag = 1)。

UA_FlowchartTpl

このテーブルには、フローチャート・テンプレートに関するメタデータが保管されます。ユーザーがフローチャート・メニューから「ツール」->「保管されたテンプレート」を選択すると、値が取り込まれます。

表 40. UA_FlowchartTpl のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NOT NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 40. UA_FlowchartTpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	フローチャート・テンプレートの名前。保管するフォルダー内で固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 40. UA_FlowchartTpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) フローチャート・テンプレートのフリー・フォームの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 40. UA_FlowchartTpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FileName	VARCHAR	NULL	フローチャート・テンプレートを含む サーバー・バイナリー・ファイルの名 前 (例: MyTemplate.tpl) 有効な値: オペレーティング・システ ムの有効なファイル名	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバ ーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 40. UA_FlowchartTpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 40. UA_FlowchartTmpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを作成したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 40. UA_FlowchartTmpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 40. UA_FlowchartTmpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 40. UA_FlowchartTmpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 40. UA_FlowchartTmpl のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来の使用のために予約済み。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 41. UA_FlowchartTmpl の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

UA_Folder

このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

表 42. UA_Folder のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NOT NULL	フォルダーの固有 ID。この ID は、新しいフォルダーが作成されたときにシステムによって割り当てられます。フォルダー ID は、100 または internalIDLowerLimit 構成パラメーターの値 (大きい方の値) から開始します。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	フォルダーの名前。親フォルダー内で固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	フォルダーのオプションの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ParentFolderID	BIGINT	NULL	親フォルダーの固有 ID。このフィールドは、逆方向にトレースして現在のフォルダーの絶対パス名を取得するために使用されます。最上位のフォルダーのみ、このフィールドの値は NULL になります。ユーザーは、フォルダーを作成するときに、親フォルダーを選択します。 有効な値: UA_Folder テーブルの任意の有効な FolderID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ObjectType	INTEGER	NULL	このフォルダーに保管されるシステム・オブジェクトのタイプ。 有効な値: 1 = セッション、2 = キャンペーン、3 = セグメント、4 = オファー、5 = 製品、6 = キューブ、7 = ACO セッション、8 = カスタム・マクロ、9 = ユーザー定義フィールド、10 = トリガー、11 = ターゲット・セル	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	フォルダーを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの IBM Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorFlag	INTEGER	NULL	IBM Campaign と Marketing Operations のオファー統合が有効な場合に使用されます。フラグは、オファーが Campaign または Marketing Operations のどちらによって作成されたかを示します。 有効な値: 0、1、2、3	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 42. UA_Folder のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorObjectId	BIGINT	NULL	Campaign と Marketing Operations の オファー統合で使用されます。フィールドは、IBM Campaign フォルダーと Marketing Operations フォルダーのオブジェクトを関連付けるために、Marketing Operations によって使用されます。 有効な値: 長整数	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 43. UA_Folder の子テーブル

テーブル名	説明
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときにのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。
UA_CustomMacros	このテーブルには、ユーザーおよびフローチャート全体で再使用するためのカスタム・マクロが保管されます。これには、照会名、照会 (未加工 SQL または IBM Campaign マクロ言語を使用できます)、および説明が保管されます。カスタム・マクロは、入力パラメーターを使用したり、各オーディエンス ID でデータ値を返したりできます。

表 43. UA_Folder の子テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_DerivedField	このテーブルには、ユーザーおよびフローチャート全体で再使用するためのユーザー定義フィールドが保管されます。名前、定義、および説明が保管されます。キャンペーン内に作成された新しいユーザー定義フィールドは、「ユーザー定義フィールドの作成」ウィンドウを使用して、このテーブルに保管されます。述部式が長くなる場合は、説明フィールドを数値インデックスとして使用して複数の行をまとめることによって、複数の行にまたがって記述することができます。
UA_FlowchartTpl	このテーブルには、フローチャート・テンプレートに関するメタデータが保管されます。ユーザーがフローチャート・メニューから「ツール」->「保管されたテンプレート」を選択すると、値が取り込まれます。
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。
UA_OfferList	このテーブルには、内部およびユーザー作成の両方のオファー・リストが保管されます。ユーザー作成のオファー・リストは静的 (オファーの固定リスト) またはスマート (動的; 照会に基づく) のどちらにもできます。複数オファーが割り当てられている場合、CSP の特定のセルに割り当てられたオファーの実際のリストをグループにまとめるために、内部で生成されたオファー・リストが使用されます。内部オファー・リストは、ユーザー作成のオファー・リストを参照することがあります (1 レベルのネスティングのみがサポートされます)。
UA_Segment	このテーブルには、セグメントの作成プロセスによって作成された戦略的セグメントに関する情報が保管されます。セグメントの作成プロセスが作成され、フローチャートで保存されると、値が取り込まれます。その後、セグメントの作成プロセスが実行されると、更新されます。セグメントの作成プロセス・ボックスを含むフローチャートが編集または実行されている間、行の一時コピーが作成されます (TempFlag = 1)。
UA_Session	キャンペーンに作成されたセッションに関する情報を保管します。
UA_TableCatalog	このテーブルには、IBM Campaign で使用できるすべてのテーブル・カタログに関する情報が保管されます。
UA_Triggerlist	このテーブルには、スケジュール・プロセスとコンタクト・プロセスを介して送信される各発信トリガーの名前、定義、および注釈が保管されます。トリガーはコマンド・ライン (バッチ・ファイルまたはスクリプトが可能) を実行します。
UACO_OptSession	このテーブルのエントリーは、そのすべてのメタデータを伴った単一の最適化セッションを表します。

UA_IDSByType

このテーブルには、さまざまなオブジェクト・タイプに関する次の有効な ID が含まれます (Campaign システムの各テーブルに挿入される新しい行に使用される 1 次キー)。これらの ID は、システム内でグローバルに固有な ID を生成し、固有性についてのチェックが必要にならないようにするために、システムによって使用されます。このテーブルは、オブジェクト (テーブル) のタイプごとにカウンターを維持します。新しい行が作成されるたびに、カウンターの現行値が 1 次キーに使用され、カウンターが増分します。

表 44. UA_IDSByType のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TypeID	BIGINT	NOT NULL	オブジェクトの特定のタイプの固有ID。 有効な値: 0 から 49 は、次のように定義されています: ID_CampaignID=0、ID_ChannelID = 1、ID_CreativeID = 2、ID_CubeID = 3、ID_FlowchartID = 4、ID_FolderID = 5、ID_OfferID = 6、ID_OfferTrackID = 7、ID_ResponseID = 8、ID_SegmentID = 9、ID_SessionID = 10、ID_ACOSessionID = 11、ID_OptimizeID = 12、ID_ContactTrackID = 13、ID_ResponseTrackID = 14、ID_OfferGroupID = 15、ID_OfferHistoryID = 16、ID_RunID = 17、ID_TreatmentID = 18、ID_TargetCellID = 19、ID_OfferTemplateID = 20、ID_RuleID = 21、ID_OfferListId = 22、ID_AttributeDef = 23、ID_ResponseTypeID = 24、ID_ContactStatusID = 25、ID_PackageID = 26、ID_ResponsePackID = 27、ID_CriteriaID = 28、ID_OfferListResolveID = 29、ID_EmsgOutputList = 30、ID_ACI_RuleGroupID = 31、ID_ACI_RuleID = 32、ID_ACI_DeploymentID = 33、ID_ACI_CategoryID = 34、ID_ACI_MessageID = 35、ID_ACI_InteractionPointID = 36、ID_ACI_ZoneID = 37、ID_ACI_InteractiveChannelID = 38、ID_ACI_StrategyID = 39、ID_ACI_PredicateID = 40、ID_EmsgPFMappingID = 41、ID_EmsgPFUseID = 42、ID_TmpTableID = 43、ID_ExRuleID = 44、ID_ACI_ConstraintID = 45、ID_ACI_LearningModelID = 46、ID_ACI_LearningModelAttrID = 47、ID_ACI_DepVersionID = 48、ID_ACI_EventActionID = 49	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 44. UA_IDSByType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NextID	BIGINT	NULL	オブジェクトの次の使用可能な ID。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

UA_Initiatives

マーケティング・イニシアチブの名前を保持します (Campaign の「サマリー」ページにある「イニシアチブ」フィールドに値を取り込みます)。

表 45. UA_Initiatives のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
InitiativeName	VARCHAR	NOT NULL	イニシアチブ名前。この名前は固有である必要があります。**現在のところ、これらの値を入力する GUI はありません。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

UA_Offer

このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。

表 46. UA_Offer のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NOT NULL	オファーの固有 ID。この ID は、新しいオファーが作成されたときにシステムによって割り当てられます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	オファーの名前。固有である必要はありません。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	130	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	オファーのオプションの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	オファーを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberOfOfferCodes	INTEGER	NULL	このフィールドは、オファー・コードのパートの数を指定します (最大値は 5 です)。OfferCodeX フィールドには、X <= この値の場合に、値が取り込まれます (例えば、NumberOfOfferCodes = 2 の場合、OfferCode1 および OfferCode2 のフィールドに値が取り込まれます。残りのオファー・コード 3 から 5 は NULL になります)。オファー・コード (N パートすべて) は、グローバルに固有である必要がありますが、個々のパートは固有であることは保証されません。 **保存時にグローバルに固有であることは強制ではありません (ユーザーがこれらの値をオーバーライドする場合、重複したオファー・コードを保持できます)。 有効な値: 1 から 5 までの整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode1	VARCHAR	NOT NULL	これは、オファー・コードの最初のパートであり、常に値が設定されます。値は、システムによって最初に生成され、 UA_OfferTemplate.OfferCode1CodeFrmt で定義される指定されたオファー・コード形式に一致します。ユーザーは、このオファーの「オファー・コードの再生成」権限がある場合のみ、この値をオーバーライドすることができます。 有効な値: UA_OfferTemplate.OfferCode1CodeFrmt に従った有効な文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode2	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの最初のパートであり、NumberOfOfferCodes >= 2 の場合に値が設定されます。値は、システムによって最初に生成され、UA_OfferTemplate.OfferCode2CodeFrmt で定義される指定されたオファー・コード形式に一致します。ユーザーは、このオファーの「オファー・コードの再生成」権限がある場合のみ、この値をオーバーライドすることができます。 有効な値: UA_OfferTemplate.OfferCode2CodeFrmt に従った有効な文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode3	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの最初のパートであり、NumberOfOfferCodes >= 3 の場合に値が設定されます。値は、システムによって最初に生成され、UA_OfferTemplate.OfferCode3CodeFrmt で定義される指定されたオファー・コード形式に一致します。ユーザーは、このオファーの「オファー・コードの再生成」権限がある場合のみ、この値をオーバーライドすることができます。 有効な値: UA_OfferTemplate.OfferCode3CodeFrmt に従った有効な文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode4	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの最初のパートであり、NumberOfOfferCodes >= 4 の場合に値が設定されます。値は、システムによって最初に生成され、UA_OfferTemplate.OfferCode4CodeFrmt で定義される指定されたオファー・コード形式に一致します。ユーザーは、このオファーの「オファー・コードの再生成」権限がある場合のみ、この値をオーバーライドすることができます。 有効な値: UA_OfferTemplate.OfferCode4CodeFrmt に従った有効な文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode5	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの最初のパートであり、NumberOfOfferCodes = 5 の場合に値が設定されます。値は、システムによって最初に生成され、UA_OfferTemplate.OfferCode5CodeFrmt で定義される指定されたオファー・コード形式に一致します。ユーザーは、このオファーの「オファー・コードの再生成」権限がある場合のみ、この値をオーバーライドすることができます。 有効な値: UA_OfferTemplate.OfferCode5CodeFrmt に従った有効な文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferTemplID	BIGINT	NULL	このオファーを生成するために使用されるオファー・テンプレートの OfferTemplID (オファーを作成するときにユーザーによって選択されます)。オファーの作成後、この値を変更することはできません。 有効な値: UA_OfferTemplate テーブルからの有効な OfferTemplID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Retired	INTEGER	NULL	オファーが「回収済み」であるかどうかを指定します。回収されると、キャンペーン/フローチャートにオファーを提供できなくなります。デフォルトでは、新たに作成されたオファーは、回収されません。回収されたオファーは、オファーを割り当てる際の選択肢として表示されません。ユーザーは、いつでもオファーの回収を選択できます。削除できないオファーは、代わりに自動的に回収されます。 **GUI でオファーの回収を解除する方法はありません。 有効な値: 0 = アクティブ、1 = 回収済み	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
EffectiveDateFlag	INTEGER	NULL	このオファーが有効にされる最初の日付が絶対日付に基づくか、フローチャート実行日になるかを指定します。 有効な値: 0 = 絶対日付、1 = フローチャート実行日	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ExpirationDateFlag	INTEGER	NULL	このオファーが有効である最後の日付が絶対日付に基づくか、発効日後の一定の期間 (日数) にするかを指定します。 有効な値: 0 = 絶対日付、1 = コンタクト後の期間、2 = コンタクト後の月末 (使用されません)	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DeleteLock	INTEGER	NOT NULL	有効な値: 0 = 使用されていない、1 = ロック済み/オファーは使用中	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorFlag	INTEGER	NULL	オファーを作成したアプリケーションを示す数値。 有効な値: 0、1、2、3	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 46. UA_Offer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorObjectId	BIGINT	NULL	作成元アプリケーションの対応するオブジェクトの ID 有効な値: 長整数	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 47. UA_Offer の親テーブル

テーブル名	説明
UA_OfferTemplate	このテーブルでは、システムで定義されている各オファー・テンプレートに対して 1 行が入れられます (これらはオファーを作成するために使用されます)。各オファー・テンプレートに対して、オファー・コードの数、その形式、およびオファー・コード・ジェネレーターが定義されます。また、処理コードの形式とジェネレーター、および一般的なオファー・テンプレート・メタデータが定義されます。
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

表 48. UA_Offer の子テーブル

テーブル名	説明
UA_CampToOffer	このテーブルには、キャンペーンとその関連オファー（「オファーの追加/削除」リンクをクリックすることによって、「キャンペーン・サマリー」ページからユーザーによって指定されます）とのトップダウンの定義された関係が保管されます。これは多対多マッピングにできます。ボトムアップ・オファー（キャンペーンのフローチャートで使用されるオファー）はこのテーブルには保管されません。
UA_OfferAttribute	このテーブルには、オファー（システム生成およびカスタム）に関連付けられた、静的属性の値およびパラメーター化された属性のデフォルト値が保管されます。
UA_OfferHistory	このテーブルには、顧客に提供されたすべてのオファー・バージョンが保管されます。これによって、特定のオファー（offerID）のパラメーター化されたオファー属性（OfferHistoryID によって識別されるオファー・バージョン）の特定の組み合わせが既に作成されている（CRC 値を使用している）かどうかは判別されます。UA_OfferHistory テーブルには、固有のオファー・バージョンごとに一度だけ値が取り込まれます。あるオファーの UA_OfferHistory テーブルに既に値が取り込まれている場合、同じオファーのコンタクト履歴が更新されても、もう一度値が取り込まれることはありません。
UA_OfferListMember	このテーブルには、オファー・リストのメンバーが保管されます。ユーザー定義の静的オファー・リストの場合、OfferID のリストと表示順序が含まれ、オファー・リストを保存するときに値が取り込まれます。ユーザー定義のスマート・オファー・リストの場合、このテーブルには、スマート照会が範囲指定されたフォルダーのリストが入れられます（存在する場合）。内部オファー・リストの場合、このテーブルには、すべての参照（ネストされた）オファー・リストが保管されます。メンバーは、次のいずれかになります。 - 個々のオファー - オファー・リスト - フォルダー オファー・リストのそれぞれのメンバーは、上記のいずれかである必要があります。
UA_OfferToProduct	このテーブルには、オファーと製品に関する情報が保管されます。これは、「関連オファー」フィールド（オファーを使用する場合に必要）によって指定されます。ユーザーがオファーの「関連オファー」フィールドに値を指定した場合のみ、このテーブルに値が取り込まれます。
UA_ProductIndex	このテーブルには、オファーに関連付けられた（「関連オファー」フィールドから）「製品の照会」に一致する ProductID に基づく製品とオファーの間の多対多の関係が保管されます。これは、UA_OfferToProduct.Condition 照会を再実行する必要なしに、レスポンス・トラッキングに対して特定のオファーに関連付けられた製品のセットを素早く解決するために使用されます。このテーブルでは、IBM Marketing Platform（リスト・パラメーター）で構成された間隔で、Java プログラムによって定期的に値が取り込まれたり、更新されたりします。
UA_Treatment	すべての処理（特定の時点（実行インスタンス）のオファー・バージョンとターゲット・セルの交差部分）と関連データを保管します。複数オファーがセルに割り当てられた場合、処理テーブルに複数行があります（セルに与えられたオファー・バージョンごとに 1 つの処理）。オファーのパーソナライズが使用された場合、使用されたオファー属性（オファー・バージョン）の固有の順列それぞれに処理が作成されます（そして HasDetailHistory=1 およびコンタクト情報は別のテーブル UA_DtlContactHistory に保管されます）。このデータは、ロギングが使用可能なときにのみ、CSP の実稼働実行中に取り込まれます。

表 48. UA_Offer の子テーブル (続き)

テーブル名	説明
UACO_ROffer	このテーブルには、特定のサブセクションの特定のルールを制約するオファ어의セットが入れられます。
UACO_PCT0000000000	これは、サンプルのテーブルです。最適化セッションごとに作成され、UACO_PCTBase テーブルに基づきます。
UACO_SesnOffer	このテーブルは、スコア行列と、セッションで使用される「表示するオファ어」の 2 つの項目の定義に寄与します。

UA_OfferAttribute

このテーブルには、オファ어 (システム生成およびカスタム) に関連付けられた、静的属性の値およびパラメーター化された属性のデフォルト値が保管されます。

表 49. UA_OfferAttribute のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NOT NULL	この属性値が関連付けられるオファ어의 OfferID。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意の有効な OfferID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 49. UA_OfferAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	値が保管されているオファー属性の AttributeID。 有効な値: UA_AttributeDef テーブルの任意の有効な AttributeID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 49. UA_OfferAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
StringValue	VARCHAR	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: フリー・フォーム・テキスト (UA_AttributeDef.EnumType = 0) または変更可能なドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 2) の場合、任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。固定のドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 1) の場合、この値は AttributeID の UA_EnumAttrValues に保管された値の 1 つである必要があります。	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 49. UA_OfferAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberValue	DOUBLE	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な数値	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 49. UA_OfferAttribute のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 50. UA_OfferAttribute の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。
UA_AttributeDef	UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

UA_OfferHistAttrib

このテーブルには、オファーが使用される際に、パラメーター化されたオファー属性にのみ使用される実際の値が保管されます (CH へのログ記録が有効にされたフローチャート実稼働実行で提供)。フローチャートの実行時にデータが挿入されます。

表 51. UA_OfferHistAttrib のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	値が保管されているオファー属性の AttributeID。 有効な値: UA_AttributeDef テーブル の任意の有効な AttributeID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

表 51. UA_OfferHistAttrib のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferHistoryID	BIGINT	NOT NULL	この属性値が保管されているオファー履歴 ID (オファー・バージョンまたはパラメーター化されたオファー属性の固有の順列)。 有効な値: UA_OfferHistory テーブルの任意の有効な OfferHistoryID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?はい 構成に影響されますか? ?いいえ

表 51. UA_OfferHistAttrib のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
StringValue	VARCHAR	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: フリー・フォーム・テキスト (UA_AttributeDef.EnumType = 0) または変更可能なドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 2) の場合、任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。固定のドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 1) の場合、この値は AttributeID の UA_EnumAttrValues に保管された値の 1 つである必要があります。	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 51. UA_OfferHistAttrib のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberValue	DOUBLE	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な数値	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 51. UA_OfferHistAttrib のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 52. UA_OfferHistAttrib の親テーブル

テーブル名	説明
UA_OfferHistory	このテーブルには、顧客に提供されたすべてのオファー・バージョンが保管されます。これによって、特定のオファー (offerID) のパラメーター化されたオファー属性 (OfferHistoryID によって識別されるオファー・バージョン) の特定の組み合わせが既に作成されている (CRC 値を使用している) かどうか が判別されます。UA_OfferHistory テーブルには、固有のオファー・バージョンごとに一度だけ値が取り込まれます。あるオファーの UA_OfferHistory テーブルに既に値が取り込まれている場合、同じオファーのコンタクト履歴が更新されても、もう一度値が取り込まれることはありません。

表 52. UA_OfferHistAttrib の親テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_AttributeDef	UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

UA_OfferHistory

このテーブルには、顧客に提供されたすべてのオファー・バージョンが保管されます。これによって、特定のオファー (offerID) のパラメーター化されたオファー属性 (OfferHistoryID によって識別されるオファー・バージョン) の特定の組み合わせが既に作成されている (CRC 値を使用している) かどうかが判別されます。

UA_OfferHistory テーブルには、固有のオファー・バージョンごとに一度だけ値が取り込まれます。あるオファーの UA_OfferHistory テーブルに既に値が取り込まれている場合、同じオファーのコンタクト履歴が更新されても、もう一度値が取り込まれることはありません。

表 53. UA_OfferHistory のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferHistoryID	BIGINT	NOT NULL	CRC 値によって表されるオファー・バージョンの OfferHistoryID。 有効な値: UA_OfferHistAttrib テーブルに任意の有効な OfferHistoryID 値	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 53. UA_OfferHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CRC	BIGINT	NULL	パラメーター化されたオファー属性から作成されたハッシュ CRC32 値。オファー・バージョン (OfferHistoryID によって表される) を一意的に識別しようとしています。 有効な値: 任意の bigint	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 53. UA_OfferHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NULL	オファー・バージョンが生成される、提供されているオファーの OfferID (これは、少なくとも 1 つのパラメーター化されたオファー属性を持つオファー・テンプレートから作成されたオファーである必要があります)。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意の有効な OfferID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 54. UA_OfferHistory の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。

表 55. UA_OfferHistory の子テーブル

テーブル名	説明
UA_OfferHistAttrib	このテーブルには、オファーが使用される際に、パラメーター化されたオファー属性にのみ使用される実際の値が保管されます (CH へのログ記録が有効にされたフローチャート実稼働実行で提供)。フローチャートの実行時にデータが挿入されます。

表 55. UA_OfferHistory の子テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_Treatment	すべての処理 (特定の時点 (実行インスタンス) のオファー・バージョンとターゲット・セルの交差部分) と関連データを保管します。複数オファーがセルに割り当てられた場合、処理テーブルに複数行があります (セルに与えられたオファー・バージョンごとに 1 つの処理)。オファーのパersonライズが使用された場合、使用されたオファー属性 (オファー・バージョン) の固有の順列それぞれに処理が作成されます (そして HasDetailHistory=1 およびコンタクト情報は別のテーブル UA_DtlContactHistory に保管されます)。このデータは、ロギングが使用可能なときにのみ、CSP の実稼働実行中に取り込まれます。

UA_OfferList

このテーブルには、内部およびユーザー作成の両方のオファー・リストが保管されます。ユーザー作成のオファー・リストは静的 (オファーの固定リスト) またはスマート (動的; 照会に基づく) のどちらにもできます。複数オファーが割り当てられている場合、CSP の特定のセルに割り当てられたオファーの実際のリストをグループにまとめるために、内部で生成されたオファー・リストが使用されます。内部オファー・リストは、ユーザー作成のオファー・リストを参照することがあります (1 レベルのネスティングのみがサポートされます)。

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferListID	BIGINT	NOT NULL	オファー・リストを作成するときに、システムによって生成されるオファー・リストの固有 ID。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	ユーザー作成のオファー・リストの場合、これはユーザー指定のオファー・リストの名前になります。この名前は、オファー・フォルダー内で固有である必要があります。内部で生成されたオファー・リストの場合、この値は「内部オファー・リスト」になります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	ユーザー作成のオファー・リストの場合、これはユーザー指定のオファー・リストについてのオプションの説明になります。内部で生成されたオファー・リストの場合、この値は「内部オファー・リスト」になります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferQuery	VARCHAR	NULL	OfferListType = 2 (動的) の場合、このフィールドにはスマート・オファー・リストを生成するために使用されるオファー照会が含まれます。 有効な値: 有効な照会式	2048	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferListType	INTEGER	NULL	ユーザー定義オファー・リストのタイプ (静的 (オファーの固定リスト) またはスマート/動的 (オファー属性に基づく照会の解決によって生成される一致するオファー)) を指定します。また、オファー・リストが、CSP の同じセルに割り当てられる複数のオファー/オファー・リストをグループ化するために使用する、内部的に生成されるリストであるかどうかを指定します。 有効な値: 1 = 静的、2 = 動的、3 = 内部	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
MaxSize	INTEGER	NULL	OfferListType = 2 (動的) である場合、このフィールドは、オファー照会の実行の結果として返すことができるオファーの最大数を指定します。0 の値は、返すことができるオファーの数に制限がないことを意味します。 有効な値: 非負整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IncludeSubFolders	INTEGER	NULL	OfferListType = 2 (動的) の場合、このフィールドは、フォルダーの場所に基づいて返されるオファーの範囲に、サブフォルダーを含めるかどうかを指定します。一部のフォルダーのサブフォルダーを含め、他のフォルダーのサブフォルダーは含めないようにすることはできません。 有効な値: 0 = サブフォルダーを含めない、1 = サブフォルダーを含める	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Retired	INTEGER	NULL	オファー・リストが「回収済み」であるかどうかを指定します。回収されると、キャンペーン/フローチャートにオファーを提供できなくなります。デフォルトでは、新たに作成されたオファー・リストは、回収されません。回収されたオファー・リストは、オファーを割り当てる際の選択肢として表示されません。ユーザーは、いつでもオファー・リストの回収を選択できます。**GUI でオファー・リストの回収を解除する方法はありません。 有効な値: 0 = アクティブ、1 = 回収済み	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	リストを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?いいえ 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorFlag	INTEGER	NULL	IBM Campaign および IBM Marketing Operations のオファー統合が有効な場合に使用されます。フラグは、オファーが Campaign または Marketing Operations のどちらによって作成されたかを示します。 有効な値: 0、1、2、3	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 56. UA_OfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorObjectId	BIGINT	NULL	IBM Campaign と Marketing Operations のオファー統合で使用されます。フィールドは、IBM Campaign のオファー・リストと IBM Marketing Operations のオファー・リストのオブジェクトを関連付けるために、Marketing Operations によって使用されます。 有効な値: 長整数	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 57. UA_OfferList の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

表 58. UA_OfferList の子テーブル

テーブル名	説明
UA_OfferListMember	このテーブルには、オファー・リストのメンバーが保管されます。ユーザー定義の静的オファー・リストの場合、OfferID のリストと表示順序が含まれ、オファー・リストを保存するときに値が取り込まれます。ユーザー定義のスマート・オファー・リストの場合、このテーブルには、スマート照会が範囲指定されたフォルダーのリストが入れます (存在する場合)。内部オファー・リストの場合、このテーブルには、すべての参照 (ネストされた) オファー・リストが保管されます。メンバーは、次のいずれかになります。 - 個々のオファー - オファー・リスト - フォルダー オファー・リストのそれぞれのメンバーは、上記のいずれかである必要があります。

表 58. UA_OfferList の子テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_OfferListMember	このテーブルには、オファー・リストのメンバーが保管されます。ユーザー定義の静的オファー・リストの場合、OfferID のリストと表示順序が含まれ、オファー・リストを保存するときに値が取り込まれます。ユーザー定義のスマート・オファー・リストの場合、このテーブルには、スマート照会が範囲指定されたフォルダーのリストが入れられます (存在する場合)。内部オファー・リストの場合、このテーブルには、すべての参照 (ネストされた) オファー・リストが保管されます。メンバーは、次のいずれかになります。 ○ 個々のオファー ○ オファー・リスト ○ フォルダー オファー・リストのそれぞれのメンバーは、上記のいずれかである必要があります。
UA_TargetCells	このテーブルは、すべてのフローチャートで作成されたターゲット・セルの情報を保管します。ターゲット・セルは出力プロセス (メール・リスト、コール・リスト、推奨、eMessage、スナップショット、または最適化) に添付されるセルとして定義されます。メタデータ情報 (名前、コード)、ソース情報 (キャンペーン、フローチャートおよびセル ID)、処理データ (割り当てられたオファー/オファー・リストと制御セルかどうかのリスト)、そしてセルがターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) でトップダウンで作成されたか、またはフローチャート内でボトムアップで作成されたかを保管します。
UACO_ROfferList	このテーブルには、特定のサブセクションの特定のルールを制約するオファー・リストのセットが入れられます。

UA_OfferListMember

このテーブルには、オファー・リストのメンバーが保管されます。ユーザー定義の静的オファー・リストの場合、OfferID のリストと表示順序が含まれ、オファー・リストを保存するときに値が取り込まれます。ユーザー定義のスマート・オファー・リストの場合、このテーブルには、スマート照会が範囲指定されたフォルダーのリストが入れられます (存在する場合)。内部オファー・リストの場合、このテーブルには、すべての参照 (ネストされた) オファー・リストが保管されます。メンバーは、次のいずれかになります。

- 個々のオファー
- オファー・リスト
- フォルダー

オファー・リストのそれぞれのメンバーは、上記のいずれかである必要があります。

表 59. UA_OfferListMember のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferListID	BIGINT	NOT NULL	この行が関連付けられるオファー・リストの固有 ID 有効な値: UA_OfferList の任意の有効な OfferListID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 59. UA_OfferListMember のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NestedOfferListID	BIGINT	NULL	このフィールドでは、 UA_OfferList.OfferListType = 3 (内部リスト) の場合にのみ値を取り込むことができます。これには、フローチャート CSP 内のセルに割り当てられた OfferListID が入れられます。フローチャートを保存するときに、値が取り込まれます。 有効な値: UA_OfferList の任意の有効な OfferListID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 59. UA_OfferListMember のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NULL	UA_OfferList.OfferListType = 1 (静的)の場合、このフィールドには、静的オファー・リストのメンバーである OfferID の値が取り込まれます。 UA_OfferList.OfferListType = 3 (内部)の場合、このフィールドには、セルに直接割り当てられたオファーが含まれます (ユーザー作成のオファー・リストの一部として表示されるオファーではありません)。 UA_OfferList.OfferListType = 2 の場合、このフィールドは NULL になります。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意の有効な OfferID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 59. UA_OfferListMember のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 59. UA_OfferListMember のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DisplayOrder	INTEGER	NULL	このフィールドは、静的オファー・リストのオファーがユーザーに表示される順序を指定します。 UA_OfferList.OfferListType = 1 (それ以外の場合は NULL) の場合のみ、値が取り込まれます。 有効な値: NULL または 1 から始まる正整数で、同じ OfferListID の OfferID メンバーごとに増分します	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 60. UA_OfferListMember の親テーブル

テーブル名	説明
UA_OfferList	このテーブルには、内部およびユーザー作成の両方のオファー・リストが保管されます。ユーザー作成のオファー・リストは静的 (オファーの固定リスト) またはスマート (動的; 照会に基づく) のどちらにもできます。複数オファーが割り当てられている場合、CSP の特定のセルに割り当てられたオファーの実際のリストをグループにまとめるために、内部で生成されたオファー・リストが使用されます。内部オファー・リストは、ユーザー作成のオファー・リストを参照することがあります (1 レベルのネスティングのみがサポートされます)。
UA_OfferList	このテーブルには、内部およびユーザー作成の両方のオファー・リストが保管されます。ユーザー作成のオファー・リストは静的 (オファーの固定リスト) またはスマート (動的; 照会に基づく) のどちらにもできます。複数オファーが割り当てられている場合、CSP の特定のセルに割り当てられたオファーの実際のリストをグループにまとめるために、内部で生成されたオファー・リストが使用されます。内部オファー・リストは、ユーザー作成のオファー・リストを参照することがあります (1 レベルのネスティングのみがサポートされます)。

表 60. UA_OfferListMember の親テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。

UA_OfferListRes

このテーブルには、動的オファー・リストが実行時に解決する OfferID が保存されます。

表 61. UA_OfferListRes のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OLResolveID	BIGINT	NOT NULL	この行の固有 ID。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバルに固有な正整数	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 61. UA_OfferListRes のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferListID	BIGINT	NOT NULL	解決される OfferListID を指定します。 有効な値: UA_OfferList テーブルの任意の有効な OfferListID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 61. UA_OfferListRes のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NOT NULL	指定した OfferListID 内にあるオファ ー ID をリストします。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意 の有効な OfferID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバ ーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?いいえ 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

UA_OfferSuppression

UA_OfferSuppression テーブルには、対話式セッション中に訪問者に表示するオファ
ーを抑制するルールが含まれます。オファを抑制するルールは、受け入れイベン
トや拒否イベント、表示頻度、または抑制されている関連ルールへのルールの類似
性によって、トリガーされます。このテーブルは、指定した期間が経過した後な
ど、Interact がルールを抑制しなくなる場合の基準も保守します。

表 62. UA_OfferSuppression のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NOT NULL	この抑制ルールの対象となるオファ ーの ID。	19	1 次キーですか? はい
SuppressionType	INTEGER	NOT NULL	抑制ルールのタイプ。つまり、どのタ イプのイベントがこの抑制ルールをト リガーするかを指定します。1 = 受 け入れイベント、2 = 拒否イベン ト、3 = コンタクト・イベント	10	1 次キーですか? はい

表 62. UA_OfferSuppression のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponseTypeCode	VARCHAR	NULL	イベント・タイプに加えて、このルールをトリガーするために、イベントに含める必要があるレスポンス・タイプ・コードがあります。	64	1 次キーですか? いいえ
EventCount	INTEGER	NULL	このルールをトリガーするために、このイベントがポストされなければならない回数。	10	1 次キーですか? いいえ
AttributeID	BIGINT	NULL	この抑制ルールがトリガーされると、同じオファーに加えて、同じ属性やこの属性の同じ値を持つ他のオファーにも適用される場合があります。この列が null の場合、他のオファーに影響することはありません。それ以外の場合、別のオファーに StringValue、NumberValue、または DatetimeValue で定義された値と同じ値を持つ同じ属性があれば、そのオファーは抑制されます。	19	1 次キーですか? いいえ
StringValue	VARCHAR	NULL	その他の関連付けられたオファーとマッチングするための文字列型属性の値。	1024	1 次キーですか? いいえ
NumberValue	DOUBLE	NULL	その他の関連付けられたオファーとマッチングするための数値型属性の値。	53	1 次キーですか? いいえ
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	その他の関連付けられたオファーとマッチングするための日時型属性の値。	23,3	1 次キーですか? いいえ
SuppressionDuration	INTEGER	NULL	トリガーされた時点から、この抑制ルールが有効であり続ける日数。	10	1 次キーですか? いいえ

UA_OfferTemplate

このテーブルでは、システムで定義されている各オファー・テンプレートに対して 1 行が入れます (これらはオファーを作成するために使用されます)。各オファー・テンプレートに対して、オファー・コードの数、その形式、およびオファー・コード・ジェネレーターが定義されます。また、処理コードの形式とジェネレーター、および一般的なオファー・テンプレート・メタデータが定義されます。

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferTemplID	BIGINT	NOT NULL	オファー・テンプレートを作成するときに、システムによって生成されるオファー・テンプレートの固有 ID。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	これは、オファー・テンプレートの固有の名前です。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	オファー・テンプレートのオプションの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberOfOfferCodes	INTEGER	NULL	このテンプレートから作成するオファ ーのオファー・コード・パート/コン ポーネントの数 (default = 1)。 有効な値: 1 から 5 までの整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバ ーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ? はい 保存時に保管しますか ? はい 実行時に保管しますか ? いいえ 構成に影響されますか ? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode1CodeFrmt	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの最初のパートで、有効なオファー・コード形式で常に値が取り込まれる必要があります。1 文字はオファー・コードの各バイトになります。このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: • <Capital letter> = 定数 • <Symbol> = 定数 • a = 文字 A-Z • c = 文字 A-Z または 0-9 • n = 数値 0-9 • x = 任意の文字	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode2CodeFrmt	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの 2 番目のパートになり、NumberOfOfferCodes >= 2 の場合に、値が取り込まれます。それ以外の場合は、NULL になります。 **このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: • <Capital letter> = 定数 • <Symbol> = 定数 • a = 文字 A-Z • c = 文字 A-Z または 0-9 • n = 数値 0-9 • x = 任意の文字	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode3CodeFrmt	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの 3 番目のパートになり、NumberOfOfferCodes >= 3 の場合に、値が取り込まれます。それ以外の場合は、NULL になります。 **このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: • <Capital letter> = 定数 • <Symbol> = 定数 • a = 文字 A-Z • c = 文字 A-Z または 0-9 • n = 数値 0-9 • x = 任意の文字	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode4CodeFrmt	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの 4 番目のパートになり、NumberOfOfferCodes >= 4 の場合に、値が取り込まれます。それ以外の場合は、NULL になります。このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: • <Capital letter> = 定数 • <Symbol> = 定数 • a = 文字 A-Z • c = 文字 A-Z または 0-9 • n = 数値 0-9 • x = 任意の文字	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCode5CodeFrmt	VARCHAR	NULL	これは、オファー・コードの 5 番目のパートになり、NumberOfOfferCodes = 5 の場合に、値が取り込まれます。それ以外の場合は、NULL になります。 **このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: • <Capital letter> = 定数 • <Symbol> = 定数 • a = 文字 A-Z • c = 文字 A-Z または 0-9 • n = 数値 0-9 • x = 任意の文字	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferCodeGenerator	VARCHAR	NULL	指定されたオファー・コード形式に基づいて固有のオファー・コードを自動的に生成するオファー・コード・ジェネレーターの名前。デフォルトでは、Campaign に付属のオファー・コード・ジェネレーターに設定されています。 **このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: Campaign サーバーにアクセスできる任意の有効な実行可能ファイル名	250	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TreatmentCodeFmt	VARCHAR	NULL	これは、グローバルに固有な処理コードの形式で、有効な処理コード形式で常に値が取り込まれる必要があります。1 文字は処理コードの各バイトになります。このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: 大文字 = 定数、記号 = 定数、a = 文字 A から Z、c = 文字 A から Z または 0 から 9、n = 数字 0 から 9、x = 任意の文字	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TrmtCodeGenerator	CHAR	NULL	指定された処理コード形式に基づいて固有の処理コードを自動的に生成する処理コード・ジェネレーターの名前。デフォルトでは、Campaign に付属の処理コード・ジェネレーター (キャンペーン・コード・ジェネレーターと同じ) です。 **このフィールドは、オファー・テンプレートがいったん使用される (つまりこのオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、編集できません。 有効な値: Campaign サーバーにアクセスできる任意の有効な実行可能ファイル名	250	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Retired	INTEGER	NULL	オファー・テンプレートが「回収済み」であるかどうかを指定します。回収されると、新しいオファーを作成するために使用できなくなります。デフォルトでは、新たに作成されたオファー・テンプレートは、回収されません。回収されたオファー・テンプレートは、新しいオファーを作成する際の選択肢として表示されません。ユーザーは、いつでもオファー・テンプレートの回収を選択できます。**GUI でオファー・テンプレートの回収を解除する (削除する) 方法はありません。 有効な値: 0 = アクティブ、1 = 回収済み	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SuggestedUsageDesc	VARCHAR	NULL	このテンプレートがどの種類のオファーを作成するのに適しているかについて説明する、ユーザーに表示されるオプションのテキスト。これは、オファーを作成するときに、「オファー・テンプレートの選択」オファー作成ウィザードでユーザーに表示されます。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DisplayIcon	VARCHAR	NULL	ユーザーが簡単に識別できるようにするために表示するアイコンの名前 (テンプレート (.gif ファイル) を表します)。これは、ユーザーがオファーを作成する際に、「オファー・テンプレートの選択」オファー作成ウィザードの「オファー・テンプレートの定義」ページで使用されます。 有効な値: 有効な .gif ファイル名	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DisplayOrder	INTEGER	NULL	ユーザーがオファーを作成する際に、「管理」>「オファー・テンプレートの定義」ページと、「オファー・テンプレートの選択」オファー作成ウィザードの両方で、テンプレートが表示される順序を指定する内部シーケンス番号。ユーザーは、「オファー・テンプレートの定義」ページにある「並べ替え」ボタンを使用して、この値を変更できます。 有効な値: システムのオファー・テンプレートごとに増分する、1 から始まる正整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?はい

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	テンプレートを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ? いいえ 保存時に保管しますか? ? いいえ 実行時に保管しますか? ? いいえ 構成に影響されますか? ? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorFlag	INTEGER	NULL	オファー・テンプレートを作成したアプリケーションを示す数値。 有効な値: 正整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 63. UA_OfferTemplate のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
creatorObjectId	BIGINT	NULL	作成元アプリケーションの対応するオブジェクトの ID 有効な値: 正の長整数	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 64. UA_OfferTemplate の子テーブル

テーブル名	説明
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。
UA_OfferTemplAttr	このテーブルには、特定のオファー・テンプレートに関連付けられたオファー属性値が保管されます。また、各属性を非表示にするか、パラメーター化するか、そのデフォルト値、および表示順序を指定します。UA_AttributeDef テーブルで定義される attributeType に基づいて、StringValue、NumberValue、および DatetimeValue のいずれか 1 つのフィールドにのみ属性の値が含まれることに注意してください。

UA_OfferTemplAttr

このテーブルには、特定のオファー・テンプレートに関連付けられたオファー属性値が保管されます。また、各属性を非表示にするか、パラメーター化するか、そのデフォルト値、および表示順序を指定します。UA_AttributeDef テーブルで定義される attributeType に基づいて、StringValue、NumberValue、および DatetimeValue のいずれか 1 つのフィールドにのみ属性の値が含まれることに注意してください。

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AttributeID	BIGINT	NOT NULL	値が保管される属性 ID。 **オファー・テンプレートが使用される（つまり、このオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される）と、オファー・テンプレートに関連付けられたオファー属性は変更できません。 有効な値: UA_AttributeDef テーブルの任意の有効な AttributeID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferTemplID	BIGINT	NOT NULL	属性が関連付けられるオファー・テンプレート ID。 有効な値: UA_OfferTemplate テーブルの任意の有効な OfferTemplID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
StringValue	VARCHAR	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: フリー・フォーム・テキスト (UA_AttributeDef.EnumType = 0) または変更可能なドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 2) の場合、任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。固定のドロップダウン・リスト (UA_AttributeDef.EnumType = 1) の場合、この値は AttributeID の UA_EnumAttrValues に保管された値の 1 つである必要があります。	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
NumberValue	DOUBLE	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドのうち 1 つのみが、任意の行に取り込まれます。取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な数値	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	String Value、NumberValue、または DatetimeValue の 3 フィールドの うち 1 つのみが、任意の行に取り込ま れます。取り込まれるフィールドは、 この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィー ルドに基づきます。通貨は NumberValue に取り込まれます。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバ ーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?いいえ

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IsParameter	INTEGER	NULL	オファー属性がパラメーター化されるかどうか (つまり、ユーザーが CSP でセルにオファーを割り当てるときに、値を変更できるかどうか) を指定します。オファー・バージョンは、パラメーター化されたオファー属性の固有の順列に基づいて自動的に作成されます。 **オファー・テンプレートが使用される (つまり、このオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、オファー・テンプレートに関連付けられたオファー属性のパラメーター化は変更できません。 有効な値: 0 = 静的、1 = パラメーター化	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IsHidden	INTEGER	NULL	オファー属性を非表示にするかどうか (つまり、オファーを作成または表示するときに、ユーザーにオファー属性を表示するかどうか) を指定します。オファー・テンプレートを作成する場合は、非表示の属性はデフォルト値である必要があります。 **オファー・テンプレートが使用される (つまり、このオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、オファー・テンプレートに関連付けられたオファー属性の非表示状態は変更できません。 有効な値: 0 = 表示、1 = 非表示	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 65. UA_OfferTemplAttr のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DisplayOrder	INTEGER	NULL	ユーザーがオファーを作成、編集、または表示する際にオファー属性が表示される順序を指定する内部シーケンス番号。ユーザーは、「オファー・テンプレートの定義」ウィザードの「オファー属性」ページでオファー属性を上下に移動することによって、そのオファー属性の表示順序を制御します。 **オファー・テンプレートが使用される (つまり、このオファー・テンプレートを使用してオファーが作成される) と、オファー・テンプレートに関連付けられたオファー属性の順序は変更できません。 有効な値: 1 から始まる正整数で、オファー・テンプレートのオファー属性ごとに増分します	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 66. UA_OfferTemplAttr の親テーブル

テーブル名	説明
UA_OfferTemplate	このテーブルでは、システムで定義されている各オファー・テンプレートに対して 1 行が入れられます (これらはオファーを作成するために使用されます)。各オファー・テンプレートに対して、オファー・コードの数、その形式、およびオファー・コード・ジェネレーターが定義されます。また、処理コードの形式とジェネレーター、および一般的なオファー・テンプレート・メタデータが定義されます。
UA_AttributeDef	UA_AttributeDef テーブルには、オファーおよびセルのシステム属性およびカスタム属性の両方の定義が含まれます (キャンペーン・カスタム属性は UA_CampAttribute テーブルに保管されます)。システム定義属性にはフィールド SystemDefined=1 があります。オファー (OfferTemplates、Offers、OfferHistory) およびセルは、これらの属性定義を使用します。このテーブルは、「保存」ボタンがカスタム属性定義ページから起動されたときに書き込まれます。各属性は、固有の ID である AttributeID により識別される 1 行をこのテーブルに作成します。属性が初回作成された後、AttributeType フィールドおよび Length フィールドのような一部のフィールドは変更できません (詳細は個々のフィールドを参照してください)。

UA_OfferToProduct

このテーブルには、オファーと製品に関する情報が保管されます。これは、「関連オファー」フィールド（オファーを使用する場合に必要）によって指定されます。ユーザーがオファーの「関連オファー」フィールドに値を指定した場合のみ、このテーブルに値が取り込まれます。

表 67. UA_OfferToProduct のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NULL	製品照会が定義されている OfferID (関連製品のオファー属性フィールドに入力される基準)。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意の有効な OfferID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 67. UA_OfferToProduct のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ProductCondition	VARCHAR	NOT NULL	このオファーに関連付けられた製品 ID のセットを定義する 1 つ以上のオファー属性に基づく照会。 有効な値: オファー属性に基づいて作成される有効な照会を表すテキスト・ストリング	2048	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 68. UA_OfferToProduct の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。

UA_Personalization

ホーム・ページのパーソナライズ設定を保管します。パーソナライズ項目には、キャンペーンおよびセッションの最近表示された項目が含まれます。

表 69. UA_Personalization のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UserID	BIGINT	NULL	パーソナライズ項目が関連付けられた Marketing Platform ユーザー ID。 有効な値: Marketing Platform の有効な UserID **後で Marketing Platform ユーザーが削除された場合、値は無効になる可能性があります。	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 69. UA_Personalization のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Keyword	VARCHAR	NULL	情報を更新および削除するために使用される内部の固有 ID。作成時のシステムの現在時刻 (ミリ秒単位) を使用して生成されます。 有効な値: 有効な整数	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 69. UA_Personalization のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	パーソナライズされた項目/オブジェクトの名前を指定します。カテゴリーが「CUSTOMBOOKMARK」の場合、このフィールドには、ユーザーが入力するカスタム・リンク名が入れられます (ホーム・ページの「カスタム・リンク」セクションから作成します)。カテゴリーが「PAGEPREFERENCES」の場合、このフィールドには、「HOMEPAGE」のようなページの名前が入れられます。カテゴリーが「RECENTLYUSED」の場合、このフィールドには、「CAMPAIGNS」、「SESSIONS」などのオブジェクトのタイプが入れられます。 有効な値: 「Homepage」、 「Campaign」、 「Sessions」、 「CustomBookMark」	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 69. UA_Personalization のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Category	VARCHAR	NULL	パーソナライズ・カテゴリーのタイプを指定します。 有効な値: 「CustomBookmark」、 「RecentlyUsed」、 「PagePreferences」	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 69. UA_Personalization のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Data	VARCHAR	NULL	パーソナライズされた項目を表示するために使用されるデータが入れます。通常、これは xml の 1 つのブロックです。	2048	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 69. UA_Personalization のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 69. UA_Personalization のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

UA_Product

このテーブルは、顧客によって指定され、少なくとも ProductID フィールド (各製品を一意的に識別する) が含まれている必要があります。その他のフィールドはオプションですが、実際には、ユーザーがオファーに関連する適切な製品のセットを定義するために照会を実行するには、フィールドを指定する必要があります。このフィールドは、値が取り込まれ、通常は推定レスポンス (例えば、検証制御グループなど) に使用されることが期待されています。

表 70. UA_Product のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ProductID	BIGINT	NOT NULL	製品の固有 ID。 有効な値: 有効な整数	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 70. UA_Product のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UserDefinedFields	INTEGER	NULL	関連製品の照会および識別で使用するために顧客によって提供されるフィールドのプレースホルダー。 有効な値: 有効なデータ型	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 71. UA_Product の子テーブル

テーブル名	説明
UA_ProductIndex	このテーブルには、オファーに関連付けられた（「関連オファー」フィールドから）「製品の照会」に一致する ProductID に基づく製品とオファーの間の多対多の関係が保管されます。これは、UA_OfferToProduct.Condition 照会を再実行する必要なしに、レスポンス・トラッキングに対して特定のオファーに関連付けられた製品のセットを素早く解決するために使用されます。このテーブルでは、IBM Marketing Platform (リスト・パラメーター) で構成された間隔で、Java プログラムによって定期的に値が取り込まれたり、更新されたりします。

UA_ProductIndex

このテーブルには、オファーに関連付けられた（「関連オファー」フィールドから）「製品の照会」に一致する ProductID に基づく製品とオファーの間の多対多の関係が保管されます。これは、UA_OfferToProduct.Condition 照会を再実行する必要なしに、レスポンス・トラッキングに対して特定のオファーに関連付けられた製品のセットを素早く解決するために使用されます。このテーブルでは、IBM Marketing

Platform (リスト・パラメーター) で構成された間隔で、Java プログラムによって定期的に値が取り込まれたり、更新されたりします。

表 72. UA_ProductIndex のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NOT NULL	製品が関連付けられているオファーの オファー ID。 有効な値: UA_Offer テーブルからの 任意の有効な OfferID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?いいえ 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?はい

表 72. UA_ProductIndex のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ProductID	BIGINT	NOT NULL	オファーが関連付けられている製品の製品 ID。 有効な値: UA_Product テーブルからの任意の有効な ProductID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 73. UA_ProductIndex の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Product	このテーブルは、顧客によって指定され、少なくとも ProductID フィールド (各製品を一意的に識別する) が含まれている必要があります。その他のフィールドはオプションですが、実際には、ユーザーがオファーに関連する適切な製品のセットを定義するために照会を実行するには、フィールドを指定する必要があります。このフィールドは、値が取り込まれ、通常は推定レスポンス (例えば、検証制御グループなど) に使用されることが期待されています。
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。

UA_ResponseHistory

必須のレスポンス・トラッキング・フィールド (AudienceID、TreatmentInstID、レスポンス日、レスポンス・タイプなど) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー定義テーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のレスポンス履歴テーブルがあります。このテーブルの行は、レスポンス・プロセスで書き込まれます。

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CustomerID	BIGINT	NOT NULL	このフィールドは、オーディエンス・レベルを表します (1 つ以上のフィールドで構成されます)。これらのフィールドは、入力セルの現在の着信オーディエンス・レベルに基づいて自動的に出力されます。 有効な値: 任意の有効なオーディエンス ID フィールド	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TreatmentInstID	BIGINT	NOT NULL	この顧客が応答した処理インスタンスを識別します。 有効な値: UA_Treatment テーブルからの任意の有効な TreatmentInstID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponsePackID	BIGINT	NOT NULL	レスポンス・プロセス・ボックスへの 「操作テーブル」 入力の一連の行/ト ランザクションから作成されるレスポ ンス履歴テーブルに書き込まれた複数 の行をまとめてグループ化します。例 えば、複数の断片属性の場合、個別に 実行された同じ「操作」は、複数の処 理インスタンスへのレスポンスとして カウントできます。 有効な値: 有効な整数	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバ ーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ? いいえ 保存時に保管しますか ? いいえ 実行時に保管しますか ? はい 構成に影響されますか ? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponseDateTime	TIMESTAMP	NOT NULL	レスポンスの日時 (これは、レスポンス・プロセス・ボックスの「レスポンス日付」としてユーザーにより構成される)。ブランクのままにすると、レスポンス・プロセスの実行日時になります。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
WithinDateRangeFlg	INTEGER	NULL	レスポンスがオファーの有効期限より前のもの (つまり、ResponseDateTime が、TreatmentInstID によって指定されたオファー・バージョンの有効期限以前である) かどうかを指定します。 有効な値: • 0 = 有効な日付範囲外 • 1 = 有効な日付範囲内 (開始日/終了日を含む) • 99 = 不明	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OrigContactedFlg	INTEGER	NULL	customerID がこの特定のオファーを受け取る元のターゲット・グループのものかどうか、またはレスポンスが伝達された一部のコード (キャンペーン、オファー、セル、処理のコード) に基づく「ウィルス性」のものであるかどうかを指定します。 有効な値: 0 = この処理を受け取る元のターゲット・グループのものではない (ウィルス性のマーケティング) 1 = 元のターゲット・グループ	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
BestAttrib	INTEGER	NULL	パフォーマンス測定で単一の処理インスタンスへの帰属のみ許可される場合に、レスポンスを保証する「最適な」処理インスタンスを識別します。 有効な値: 0 = 最適な処理として保証しない 1 = 最適な処理に帰属する	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FractionalAttrib	DOUBLE	NULL	パフォーマンス測定で、該当する複数の処理インスタンスがレスポンスを共同で保証する場合に、処理インスタンスに帰属する断片レスポンス値を識別します。 有効な値: 0 から 1 の間の分数値。 同じ ResponsePackID のこれらの値の合計は 1 になります	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DirectResponse	INTEGER	NULL	有効な値: 1 = 直接、0 = 推定	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CustomAttrib	DOUBLE	NULL	将来の使用のために予約済み	53	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponseTypeID	BIGINT	NULL	レスポンスのタイプを識別します。 有効な値: UA_UsrResponseType テーブルの任意の有効な ResponseTypeID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ? いいえ 保存時に保管しますか? ? いいえ 実行時に保管しますか? ? はい 構成に影響されますか? ? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DateID	BIGINT	NULL	UA_Date テーブルからの日付情報を表す日付 ID 有効な値: UA_Date テーブルからの有効な DateID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TimeID	BIGINT	NULL	UA_Time テーブルからの時間 ID 情報 有効な値: Time テーブルからの有効な TimeID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UserDefinedFields	CHAR	NULL	これは、このテーブルの 1 つ以上のユーザー定義列のプレースホルダーです (追加でトラッキングするフィールド)。これらのフィールドには、「ログ」タブの「詳細オプション」ボタンを使用して、レスポンス・プロセスから値を取り込むことができます。 有効な値: データ型に基づいて DB によって受け入れられる任意の値。	18	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ValueAfter	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポート に使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UsageAfter	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポート に使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponseRevenue	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポート に使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SalesCost	BIGINT	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポート に使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?はい 構成に影響されますか ?いいえ

表 74. UA_ResponseHistory のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponseChannel	VARCHAR	NULL	CH-RH トラッキングおよびレポートに使用される追加フィールド 有効な値: データ型に応じます	16	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 75. UA_ResponseHistory の親テーブル

テーブル名	説明
UA_UsrResponseType	実装時にユーザーが定義するテーブル。説明とともにレスポンス・タイプのリストを保管します。一度構成すると、このテーブルの内容はレスポンス・プロセスの構成に表示されます。
UA_Treatment	すべての処理 (特定の時点 (実行インスタンス) のオファー・バージョンとターゲット・セルの交差部分) と関連データを保管します。複数オファーがセルに割り当てられた場合、処理テーブルに複数行があります (セルに与えられたオファー・バージョンごとに 1 つの処理)。オファーのパーソナライズが使用された場合、使用されたオファー属性 (オファー・バージョン) の固有の順列それぞれに処理が作成されます (そして HasDetailHistory=1 およびコンタクト情報は別のテーブル UA_DtlContactHistory に保管されます)。このデータは、ロギングが使用可能なときのみ、CSP の実稼働実行中に取り込まれます。
UA_Time	このテーブルには、特定の時間の時と分に関する情報を識別する時間情報が保持されます。これは、レポートを作成するために使用されます。このテーブルには、実装のセットアップの一部として値を取り込む必要があります。

表 75. UA_ResponseHistory の親テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_Calendar	このテーブルには、暦四半期、曜日、週の初日と最終日などについての情報を識別するカレンダー情報が保持されます。これは、経時的なレポートを作成するために使用されます。このテーブルは、実装時に顧客によってカスタマイズされることが想定されています。実装時に、コンタクト履歴で参照される日付が、このテーブルでカバーされる期間内に含まれていることを確認する必要があります。

UA_RespTypeMapping

UA_RespTypeMapping テーブルは、オファー統合をサポートするために、IBM Campaign と eMessage のテーブルにおけるデータ転送を調整します。このテーブルは、UA_UsrResponseType の CampaignRespTypeID を UACE_ResponseType の EMessageRespTypeID にマップします。注: Campaign と eMessage の ETL に関する事前定義されたレスポンス・タイプ・マッピングは、次のように定義されています (CampaignRespTypeID、EMessageRespTypeID、ApplicationType): リンク・クリックの場合 9、1、3。待ち受けページの場合、10、14、3。SMS 返信メッセージの場合、11、18、3。

表 76. UA_RespTypeMapping のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignRespTypeID	BIGINT	NOT NULL	数値フィールド。これは、UA_UsrResponseType テーブルの ResponseTypeID 列で定義されている値に一致する必要があります。	19	1 次キーですか? いいえ
EMessageRespTypeID	BIGINT	NOT NULL	数値フィールド。これは、UACE_ResponseType テーブルの ResponseTypeID 列で定義されている値に一致する必要があります。	19	1 次キーですか? いいえ
ApplicationType	INTEGER	NULL	ApplicationType 3 は、eMessage を変更すべきではないことを示します。	10	1 次キーですか? いいえ

UA_SegMembership

このテーブルには、各戦略的セグメントのメンバーが入れられます (多対多の関係が可能)。オーディエンス・レベルごとに 1 つの SegMembership テーブルがあります。システム・テーブルがマップされている場合にのみ、このテーブルに値が取り込まれます。IBM Contact Optimization (ACO) が機能するには、マップする必要があります。最新のメンバーを入れるため、メンバーを作成するセグメント作成プロセスが実動状態で実行されるたびに、このテーブルは更新されます。

表 77. UA_SegMembership のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentID	BIGINT	NOT NULL	セグメント ID。 有効な値: UA_Segment テーブルの任意の有効な SegmentID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 77. UA_SegMembership のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CustomerID	BIGINT	NOT NULL	これは、マーケティング・エンティティを表す 1 つ以上のオーディエンス・フィールドのプレースホルダーです。この CustomerID は、指定した戦略的セグメントのメンバーになります。 有効な値: オーディエンス ID 値の任意の有効なセット	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

UA_Segment

このテーブルには、セグメントの作成プロセスによって作成された戦略的セグメントに関する情報が保管されます。セグメントの作成プロセスが作成され、フローチャートで保存されると、値が取り込まれます。その後、セグメントの作成プロセスが実行されると、更新されます。セグメントの作成プロセス・ボックスを含むフローチャートが編集または実行されている間、行の一時コピーが作成されます (TempFlag = 1)。

表 78. UA_Segment のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentID	BIGINT	NOT NULL	セグメントの固有 ID。この ID は、セグメントが作成されたときにシステムによって割り当てられます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	戦略的セグメントの名前。セグメントが作成されるフォルダーで固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、戦略的セグメントのフリー・フォームのテキスト記述。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 **セグメント・フォルダーは、Web 側から作成されます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	セグメントが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	セグメントを作成したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunDate	TIMESTAMP	NULL	セグメントが最後に実行されたサーバー日時。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunBy	INTEGER	NULL	セグメントを作成したフローチャートを最後に実行したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentCount	INTEGER	NULL	この戦略的セグメントに含まれる固有メンバー (オーディエンス ID) の数。セグメントの作成プロセスがまだ実行されていない場合、この値はゼロです。 有効な値: 非負整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TempTableName	VARCHAR	NULL	将来の使用のために予約済み 有効な値: NULL	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellFileName	VARCHAR	NULL	戦略的セグメントに対応する CustomerID のリストを含むサーバー上のバイナリー・ファイルの名前。ファイル名は、戦略的セグメント名に基づき、固有の数値 ID と .bin が追加されます。 有効な値: 有効なファイル名	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
AudienceName	VARCHAR	NULL	セグメントを作成するために使用されるオーディエンス・レベルの名前。 有効な値: 有効なオーディエンス・レベル名の文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ActiveFlag	INTEGER	NULL	戦略的セグメントがセグメント・ツリー階層に表示されるかどうかを指定します。初期状態では、セグメントの作成時はアクティブです。ユーザーが Web GUI から削除した場合、ソース・フローチャートが再び実行 (再アクティブ化) されるまで非アクティブとして設定されます。 有効な値: 0 = 非アクティブ、1 = アクティブ	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ? いいえ 保存時に保管しますか? ? いいえ 実行時に保管しますか? ? いいえ 構成に影響されますか? ? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TempTableDB	VARCHAR	NULL	有効な値: AM 構成の中で定義されているデータ・ソースの名前、またはデータ・ソース名のコンマ区切りリスト。	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 78. UA_Segment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentType	INTEGER	NOT NULL	セグメントが静的セグメント (セグメント内のオーディエンス ID のリスト) であるか、スマート・セグメント (メンバーシップ基準に基づく動的評価) であるかを識別します。 有効な値: 1 = バッチ、2 = スマート	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 79. UA_Segment の親テーブル

テーブル名	説明
UA_SegmentType	システム・テーブルの作成時に定義済みの列挙テーブル。このテーブルは、セグメント・タイプの有効な値のセットを識別するのに役立ちます。
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

表 80. UA_Segment の子テーブル

テーブル名	説明
UA_FlowchartSeg	このテーブルには、セグメントとフローチャートのすべての関係が入れられます。フローチャートによってセグメントが作成される、またはセグメントがフローチャートによって単に参照されるときに (両方の場合もあります)、定義されます。このテーブルを作成することによって、FK 関係を DB レベルで強制することができます。

UA_SegmentType

システム・テーブルの作成時に定義済みの列挙テーブル。このテーブルは、セグメント・タイプの有効な値のセットを識別するのに役立ちます。

表 81. UA_SegmentType のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentType	INTEGER	NOT NULL	これは、セグメント・タイプの ID です。現在、対話式とバッチの 2 つ のセグメント・タイプがあります。 有効な値: 1 = バッチ、2 = 対話式	10	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?いいえ 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?いいえ

表 81. UA_SegmentType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	セグメント・タイプの説明。 有効な値: 任意の文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 82. UA_SegmentType の子テーブル

テーブル名	説明
UA_Segment	このテーブルには、セグメントの作成プロセスによって作成された戦略的セグメントに関する情報が保管されます。セグメントの作成プロセスが作成され、フローチャートで保存されると、値が取り込まれます。その後、セグメントの作成プロセスが実行されると、更新されます。セグメントの作成プロセス・ボックスを含むフローチャートが編集または実行されている間、行の一時コピーが作成されます (TempFlag = 1)。

UA_SegRefType

有効な参照タイプを使用して値が事前に取り込まれているルックアップ・テーブル。

表 83. UA_SegRefType のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RefType	INTEGER	NOT NULL	RefType は UA_FlowchartSeg テーブルを UA_SegRefType テーブルと結び付けます。バッチ・フローチャートの値は、常に 1 になります。IBM Interact が環境に組み込まれていない限り、バッチ・フローチャートの値が 2 になることはありません。2 の値は、対話式フローチャートにのみ使用されます。 有効な値: 1 = 作成者、2 = リファレンサー	10	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 83. UA_SegRefType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	参照タイプの説明。 有効な値: 任意の文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 84. UA_SegRefType の子テーブル

テーブル名	説明
UA_FlowchartSeg	このテーブルには、セグメントとフローチャートのすべての関係が入れられます。フローチャートによってセグメントが作成される、またはセグメントがフローチャートによって単に参照されるときに (両方の場合もあります)、定義されます。このテーブルを作成することによって、FK 関係を DB レベルで強制することができます。

UA_SesnRunType

これは、Campaign セッション実行タイプを列挙します (テスト・モードは除く)

表 85. UA_SesnRunType のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunType	INTEGER	NOT NULL	Campaign セッション実行タイプの固有 ID 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	10	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 85. UA_SesnRunType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	セッション実行タイプの説明 (UI には表示されません) 有効な値: 有効な文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 86. UA_SesnRunType の子テーブル

テーブル名	説明
UA_CCRunLog	このテーブルには、フローチャートが実稼働で実行されるたびにフローチャートの実行履歴が記録されます (テスト実行では記録されません)。新しいフローチャートが実行されるたびに、固有の RunID が生成されます (ブランチ/プロセスの実行時には生成されません)。開始/終了の日時、およびフローチャートを実行したユーザーが記録されます。IBM Distributed Marketing の実行の場合、リモート・ユーザーに関する情報も記録されます。

UA_Session

キャンペーンに作成されたセッションに関する情報を保管します。

表 87. UA_Session のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SessionID	BIGINT	NOT NULL	セッションの固有 ID。この ID は、セッションが作成されたときにシステムによって割り当てられます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	セッションの名前。セッションが作成されるフォルダーで固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、セッションのフリー・フォームのテキスト記述。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	セッションを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunDate	TIMESTAMP	NULL	セッション・フローチャートが最後に実行されたサーバー日時。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunBy	INTEGER	NULL	フローチャートを最後に実行したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 87. UA_Session のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 88. UA_Session の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

表 89. UA_Session の子テーブル

テーブル名	説明
UA_Flowchart	このテーブルには、すべてのフローチャートに関する情報が保管されます。システム内の各フローチャートに対して 1 行が保管されます。また、システムで実行中のフローチャート (ステータス) でレポートを作成するためにも使用されます。

UA_SummaryCube

キューブ・プロセスで作成されたすべてのキューブに関する情報を保管し、ステータス情報と Campaign サーバーに保管される CubeDataFile 名へのポインターを提供します。

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CubeID	BIGINT	NOT NULL	キューブの固有 ID。この ID は、キューブが作成されたときにシステムによって割り当てられます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TempFlag	INTEGER	NOT NULL	これは、キューブのロック状態を識別するために使用される内部フィールドです。ロックは、キューブを生成するフローチャートを別のユーザーが編集または実行していると発生します。 有効な値: 0 = 使用中ではない、1 = 使用中	10	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SrcFlowChartID	BIGINT	NOT NULL	このキューブを作成するために使用されるキューブ・プロセスを含むフローチャートのフローチャート ID。 有効な値: UA_Flowchart テーブルからの任意の有効な FlowchartID	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	キューブ名。この名前は、グローバルに固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、キューブのフリー・フォームのテキスト記述。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
SegmentID	BIGINT	NULL	このフィールドには、キューブが戦略的セグメントに作成される場合にのみ、値が取り込まれます。それ以外の場合は、NULL になります。このフィールドは、このキューブで使用されるセグメントのセグメント ID になります。ユーザーは、キューブ・プロセスを構成することによって、キューブが作成されるセグメントを選択します。 有効な値: UA_Segment テーブルからの任意の有効な SegmentID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	キューブを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunDate	TIMESTAMP	NULL	キューブが最後に実行されたサーバー日時。一度も実行されていない場合には、この値は NULL です。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunBy	INTEGER	NULL	キューブを最後に実行したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 90. UA_SummaryCube のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DataFileName	VARCHAR	NULL	事前計算されたキューブ・データを含むサーバー上のバイナリー・ファイルの名前。ファイル名は、キューブ名に基づき、固有の数値 ID と .bin が追加されます。キューブ・データ・ファイルには、ヘッダーとキューブ・データが含まれます。ヘッダーには、ツリー構造の最大 3 ディメンションまでの情報が含まれます。データには、カウントとオプションのロールアップ・データ、各変数の最小、最大、合計が含まれます。 有効な値: 有効なファイル名	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

UA_TableCatalog

このテーブルには、IBM Campaign で使用できるすべてのテーブル・カタログに関する情報が保管されます。

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NOT NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	テーブル・カタログの名前。フォルダー内で固有の名前でなければなりません。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	64	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、テーブル・カタログのフリー・フォームのテキスト記述。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FileName	VARCHAR	NULL	ユーザー・テーブル・マッピングを含むサーバー上のバイナリー・ファイルまたは XML ファイルの名前。ファイル名は、テーブル・カタログ名に基づき、.cat または .xml 拡張子 (出力形式のタイプによる) が追加されます。 有効な値: 有効なファイル名	255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを作成したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform の usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 91. UA_TableCatalog のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 92. UA_TableCatalog の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

UA_TargetCells

このテーブルは、すべてのフローチャートで作成されたターゲット・セルの情報を保管します。ターゲット・セルは出力プロセス (メール・リスト、コール・リスト、推奨、eMessage、スナップショット、または最適化) に添付されるセルとして定義されます。メタデータ情報 (名前、コード)、ソース情報 (キャンペーン、フローチャートおよびセル ID)、処理データ (割り当てられたオファー/オファー・リストと制御セルかどうかのリスト)、そしてセルがターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) でトップダウンで作成されたか、またはフローチャート内でボトムアップで作成されたかを保管します。

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellID	BIGINT	NOT NULL	セルの固有 ID。この ID は、ターゲットが作成されたとき、およびフローチャートまたは TCS が保存されたときに、システムによって割り当てられます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellName	VARCHAR	NOT NULL	セルの名前。フローチャート内で固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (IBM Campaign 照会言語の名前に使用することが標準で禁止されている特殊名前文字は除く)。	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、セルのフリー・フォームのテキスト記述 (TCS からのみ値を取り込むことができます)。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellCode	VARCHAR	NULL	セルを識別するストリング値。システム構成のセル・コード形式 (「サーバー」>「システム・コード」の下の CellCodeFormat) と一致している必要があります。セル・コードは、構成パラメーター AllowDuplicateCellCodes = 0 の場合のみ、フローチャート内で固有である必要があります (フローチャート検証ツールにより実行時に検出)。 有効な値: 「サーバー」>「システム・コード」> CellCodeFormat 構成パラメーターで指定されたセル・コード形式を満たす任意の文字列	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ControlCellID	BIGINT	NULL	制御セルがターゲット・セルに割り当てられる場合、このフィールドには、制御セル ID が入れられます。制御として識別されるセルでなければならず、ボトムアップで作成される場合は、同じフローチャート内にあり、同じ CSP に接続されたセルでなければなりません。トップダウンで作成される場合は、TCS 内の任意のセルが可能です。 有効な値: UA_TargetCell テーブルの任意の有効な CellID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IsControl	INTEGER	NULL	ターゲット・セルが検証制御セルであるかどうかを指定します。セルが制御として指定される場合、そのセルに割り当てられるオファーはありません (また、以前に割り当てられたオファーは消去されます)。 有効な値: 0 = ターゲット・セル、1 = 検証制御セル	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NULL	このターゲット・セルが関連付けられるキャンペーン ID を識別します。 有効な値: UA_Campaign テーブルの任意の有効な CampaignID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartID	BIGINT	NULL	このターゲット・セルが関連付けられるフローチャート ID を識別します。 有効な値: UA_Flowchart テーブルからの任意の有効な FlowchartID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferListID	BIGINT	NULL	ユーザーによってターゲット・セルに割り当てられた (CSP 内または TCS 内のいずれか) すべてのオファーおよびオファー・リストを含めるために作成された内部オファー・リストを識別します。割り当てられたオファーがない場合、この値は NULL です。 有効な値: OfferListType = 3 の場合、UA_OfferList の任意の有効な OfferListID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DisplayOrder	INTEGER	NULL	TCS でターゲット・セルが表示される順序を識別します。ユーザーは、TCS を編集する際に、行を上/下に移動させるアイコンを使用して、表示順序を変更できます。ボトムアップで作成された行には、初期状態で NULL 値が設定されています (TCS の上部に表示されます) が、ユーザーはこれらの行を手動で順序変更することができます。変更した場合、NULL 以外の表示順序値を受け取ります。 有効な値: 1 から始まる正整数で、TCS で作成される行ごとに 1 つずつ増分します。NULL はフローチャートからボトムアップで作成された行に対して有効です	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?はい

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	セルを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IsTopDown	INTEGER	NULL	TCS で作成されるすべてのターゲット・セルは、トップダウンで作成されるセルになります (フローチャート内で作成されるセルとは対照的です)。ターゲット・セルは、トップダウンで定義することも、フローチャートのセルにリンクすることもできます。 有効な値: 0 = ボトムアップ、1 = トップダウン	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IsReadOnly	INTEGER	NULL	ターゲット・セルは読み取り専用で、ユーザーが制御セルを指定することも、TCS からオファーを割り当てることもできないことを指定します。これは、ターゲット・セルがフローチャートの複数の出力プロセスに接続される場合、またはオファー/制御セルの制御が無効である (例えば、スナップショット・プロセス・ボックスまたは最適化プロセス・ボックスに接続されたターゲット・セル) 場合に、発生します。 有効な値: 0 = 読み取り/書き込み、1 = 読み取り専用	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Retired	INTEGER	NULL	このターゲット・セルがフローチャート内の特定の CSP プロセスに関連付けられているかどうかを指定します。この値は、このセルを作成した CSP が既に存在していない、またはこのセルを今後処理しない場合に、「回収済み」になります。 有効な値: 1 = 回収済み、0 = アクティブ	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Approved	INTEGER	NULL	ターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) のこの行が承認されているかどうかを指定します。承認は IBM Marketing Operations TCS でのみ可能です。 有効な値: 0 = 未承認1/NULL = 承認済み (Marketing Operations が統合されていない場合、常に 1 になります)	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellCount	INTEGER	NULL	セル内の固有のオーディエンス ID の数が入れます (ユーザーが TCS において手動で「セルのステータスを取得」をクリックすると、更新されます)。 有効な値: 任意の非負整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunType	INTEGER	NULL	セル・カウントの生成を最後に実行したタイプを指定します 有効な値: 実動フローチャート実動ブランチ 実動プロセス テスト・フローチャート テスト・ブランチ テスト・プロセス	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunBy	INTEGER	NULL	セル・カウントを更新した最後のユーザーの名前。 有効な値: IBM Marketing Platform に保管される任意のユーザー名。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 93. UA_TargetCells のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
LastRunTime	TIMESTAMP	NULL	セル・カウントが更新された最後のサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 94. UA_TargetCells の親テーブル

テーブル名	説明
UA_OfferList	このテーブルには、内部およびユーザー作成の両方のオファー・リストが保管されます。ユーザー作成のオファー・リストは静的 (オファーの固定リスト) またはスマート (動的; 照会に基づく) のどちらにもできます。複数オファーが割り当てられている場合、CSP の特定のセルに割り当てられたオファーの実際のリストをグループにまとめるために、内部で生成されたオファー・リストが使用されます。内部オファー・リストは、ユーザー作成のオファー・リストを参照することがあります (1 レベルのネスティングのみがサポートされます)。
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。

表 95. UA_TargetCells の子テーブル

テーブル名	説明
UA_CellAttribute	このテーブルには、特定のセルのカスタム・セル属性値が保管されます。これらの値は、ターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) にユーザーによってデータ入力されます。カスタム属性のデータ型に応じて (UA_AttributeDef で指定)、特定の行に対してフィールド (StringValue、NumberValue、DatetimeValue) のうちの 1 つにのみ、値が取り込まれます。属性は AttributeID の順に、ターゲット・セル・スプレッドシートに表示されます。
UA_Treatment	すべての処理 (特定の時点 (実行インスタンス) のオファー・バージョンとターゲット・セルの交差部分) と関連データを保管します。複数オファーがセルに割り当てられた場合、処理テーブルに複数行があります (セルに与えられたオファー・バージョンごとに 1 つの処理)。オファーのパーソナライズが使用された場合、使用されたオファー属性 (オファー・バージョン) の固有の順列それぞれに処理が作成されます (そして HasDetailHistory=1 およびコンタクト情報は別のテーブル UA_DtlContactHistory に保管されます)。このデータは、ロギングが使用可能なときにのみ、CSP の実稼働実行中に取り込まれます。

UA_Time

このテーブルには、特定の時間の時と分に関する情報を識別する時間情報が保持されます。これは、レポートを作成するために使用されます。このテーブルには、実装のセットアップの一部として値を取り込む必要があります。

表 96. UA_Time のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TimeID	BIGINT	NOT NULL	このテーブルの行の固有 ID。 有効な値: HHMMSS として表される時間 (現在、SS は常に 00 になります)	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 96. UA_Time のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Hour	INTEGER	NULL	指定した時間の時。 有効な値: 0 から 23 の間の正整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 96. UA_Time のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Minute	INTEGER	NULL	指定した時間の分。 有効な値: 0 から 59 の間の正整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 97. UA_Time の子テーブル

テーブル名	説明
UA_ContactHistory	必須のコンタクト・フィールド (AudienceID、CellID、PackageID、ContactDateTime、ContactStatusID など) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー作成のテーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のテーブルがあります。CSP ログイン・テーブルで「コンタクト履歴テーブルに記録」が有効にされている場合、このテーブルに行が書き込まれます。このテーブルは、セル・メンバーシップ情報を取得し、同じ CSP で処理されるセルを packageID で識別します (同じ CSP の同じオーディエンス・エンティティに対してなされるすべてのコンタクトは、同じ「パッケージ」の一部であり、中断を表すものです)。ターゲット・セルと検証制御の両方とも、コンタクト履歴 (CH) に書き込まれます。このテーブルの既存のエントリ (ContactStatus、UpdateDateTime、およびユーザー定義フィールド) は、トラッキング・プロセスを使用して更新できます。トラッキング・プロセスは、このテーブルに新しい行を作成することはできません。このテーブルは、コンタクトのトラッキングに必要です。またこれは、最適化をコンタクトに適用するために、IBM Contact Optimization (ACO) によっても使用されます。この「ベース」コンタクト履歴テーブルでは、UA_Treatment、UA_OfferHistory、および UA_OfferHistAttrib テーブルに同時に値を取り込みます (これらのテーブルはすべて揃って「コンタクト履歴」を構成します)。CSP でコンタクト履歴へのログ記録が無効になっている場合、これらのテーブルには書き込まれません。
UA_DtlContactHist	このテーブルは、同じセル内のそれぞれがすべてまったく同じオファーを受け取るわけではないオファーのパーソナライズ (サブセル) ケースで、どのオファー・バージョンを、どのオーディエンス ID が受け取るかを正確に保管します。それらは、異なる数のオファーまたは異なるオファー・バージョン、あるいはその両方を受け取る場合があります。UA_Treatment.HasDetailHistory = 1 の場合のみ、このテーブルに行が書き込まれます。
UA_ResponseHistory	必須のレスポンス・トラッキング・フィールド (AudienceID、TreatmentInstID、レスポンス日、レスポンス・タイプなど) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー定義テーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のレスポンス履歴テーブルがあります。このテーブルの行は、レスポンス・プロセスで書き込まれます。

UA_TmpTablePool

このテーブルは、テーブル ID とそのスキーマを保管するために、Campaign サーバーの一時テーブル・プール・マネージャー・モジュールによって使用されます。構成: campaign | partitions | partition1 | datasources | data_source の UseTempTablePool 設定によって、このテーブルの使用法が制御されます。

表 98. UA_TmpTablePool のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ID	BIGINT	NOT NULL	この列には、一時テーブル・プールにある一時テーブルの ID が保管されます。 有効な値: 0 から最大許容値	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? 該当なし ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?いいえ 実行時に保管しますか? ?はい 構成に影響されますか? ?はい

表 98. UA_TmpTablePool のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
DataSrcName	VARCHAR	NOT NULL		255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバー ライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ?はい 保存時に保管しますか ?はい 実行時に保管しますか ?いいえ 構成に影響されますか ?いいえ

表 98. UA_TmpTablePool のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TableSchema	VARCHAR	NOT NULL	ID 列によって表されるテーブル ID のスキーマを保管します。プールからテーブルを割り振る前に、必要なスキーマとこの列に保管されるスキーマが比較されます。テーブルは、スキーマが正確に一致する場合にのみ、割り振られます。 有効な値: 1 から最大許容文字	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? 該当なし ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 98. UA_TmpTablePool のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TableID	BIGINT	NULL	セルによって提供される論理 ID を保持します。これにより、論理から物理へのマップは、すべてのテーブルで維持されます。 有効な値: 0 から最大許容値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? 該当なし ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 98. UA_TmpTablePool のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UserID	BIGINT	NULL	一時テーブルを要求したユーザーのユーザー ID を保管します。 有効な値: 0 から最大許容値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? 該当なし ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 98. UA_TmpTablePool のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartID	BIGINT	NULL	テーブルを要求したフローチャートの ID を保管します。 有効な値: 0 から最大許容値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? 該当なし ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい
InstanceID	BIGINT	NULL	Campaign フローチャートを実行する場合、InstanceID は常に 0 になります。IBM Distributed Marketing フローチャートを実行する場合、InstanceID は一時テーブルが属するフローチャート・インスタンスを識別します。	19	1 次キーですか? いいえ

表 98. UA_TmpTablePool のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
Status	TINYINT	NULL	テーブル・プールからのテーブルのステータスを保管します。ステータス 0 は、テーブルが「空き」であることを示します。ステータス 2 は、テーブルが「割り当て済み」であることを示します。 有効な値: 0 から最大許容値	3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? 該当なし ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

UA_Treatment

すべての処理 (特定の時点 (実行インスタンス) のオファー・バージョンとターゲット・セルの交差部分) と関連データを保管します。複数オファーがセルに割り当てられた場合、処理テーブルに複数行があります (セルに与えられたオファー・バージョンごとに 1 つの処理)。オファーのパーソナライズが使用された場合、使用されたオファー属性 (オファー・バージョン) の固有の順列それぞれに処理が作成されます (そして HasDetailHistory=1 およびコンタクト情報は別のテーブル UA_DtlContactHistory に保管されます)。このデータは、ロギングが使用可能なときにのみ、CSP の実稼働実行中に取り込まれます。

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TreatmentInstID	BIGINT	NOT NULL	処理インスタンスに対する固有 ID。 この ID は、フローチャート実行時に処理が作成されると、システムによって割り当てられます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CellID	BIGINT	NULL	CSP で処理されるセル ID。 有効な値: UA_TargetCells からの有効な CellID 値	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PackageID	BIGINT	NULL	1 つの CSP の実行によって作成されるすべての処理を 1 つにまとめるパッケージ ID (UA_ContactHistory.PackageID と同じ値)。これにより、同じパッケージ/中断で、同じオーディエンス ID に提供されるすべてのオファーを識別することができます。 PackageID および CellID は、レポート用に CH と処理テーブルを一緒に結合するために使用されます。 有効な値: 生成される値に対する internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内のグローバル固有正整数 (sesutil を使用する別のシステムからインポートされたキャンペーンではこの範囲外でもよい)。	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunID	BIGINT	NULL	バッチ・フローチャートでは、実行 ID はフローチャートの別個/新規の実行を表します (値はフローチャートの実行ごとに増分しますが、ブランチ/プロセスの実行では増分しません)。対話式フローチャートでは、RunID は、フローチャートが変更および保存された場合にのみ、増分します。 有効な値: UA_CCRLog テーブルからの任意の有効な RunID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
RunDateTime	TIMESTAMP	NULL	処理を作成する CSP が最後に実行 (キャンペーン内のフローチャートでのフローチャート、ブランチ、プロセスの実行) された日時。この値は、ブランチ/プロセスの実行時に更新されます。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TreatmentCode	VARCHAR	NULL	UA_OfferTemplate.TreatmentCodeFmt の処理コード形式に基づくグローバルに固有な、システム生成のコード。OfferID を生成するために使用されます (ユーザーによるオーバーライドは不可)。 有効な値: UA_OfferTemplate.TreatmentCodeFmt の必要な形式に一致する固有の処理コード	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CntrlTreatmtFlag	INTEGER	NULL	処理インスタンスが検証制御セル用であるかどうかを識別します。制御処理は、CH に書き込まれますが、コンタクト/出力リストには書き込まれません。推定レスポンスのレスポンス・トラッキングに使用されます。 有効な値: 0 = ターゲット・セル用に作成された処理、1 = 制御セル用に作成された処理	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CntrlTreatmtInstID	BIGINT	NULL	CntrlTreatmtFlag = 1 の場合、このフィールドは NULL になります。 CntrlTreatmtFlag = 0 で、ユーザーが制御セルをターゲット・セルに割り当てた場合、このフィールドには、制御処理の制御インスタンス ID が含まれます。 有効な値: CntrlTreatmtFlag = 1 の場合、UA_Treatment テーブルからの任意の有効な TreatmentInstID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
TreatmentSize	INTEGER	NULL	この処理で処理される固有メンバー (オーディエンス ID) の数。これは、非パーソナライズ・ケースにおける CellID のメンバーの数になります (セル内のすべてのメンバーは、まったく同じように処理されます)。ただし、オファー・パーソナライズが使用される場合 (HasDetailHistory = 1 の場合)、数値 <= セル・サイズになります。 有効な値: 非負整数	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferID	BIGINT	NULL	この処理に関連付けられたオファ어의 オファ어 ID。 有効な値: UA_Offer からの任意の有 効な OfferID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバ ーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか ? いいえ 保存時に保管しますか ? いいえ 実行時に保管しますか ? はい 構成に影響されますか ? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ProcessID	BIGINT	NOT NULL	この処理を作成した CSP の固有の ID (この値はフローチャート内で固有になりますが、グローバルに固有ではありません。グローバルに固有にする場合は、flowchartID が必要になります)。CSP の「履歴の消去」機能 (そのプロセス・ボックスによって作成されたすべての処理に対する指定された実行の履歴を消去します) をサポートするには、この値を使用します。 有効な値: 有効な整数 (プロセス・ボックスが削除されている場合があるため、プロセス ID はフローチャート内に必ずしも存在している必要はありません)。	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
HasDetailHistory	INTEGER	NULL	セルのすべてのメンバーがまったく同じオファーを受けない場合に、オファー・パーソナライズが使用されるかどうかを識別します。これは、ユーザー定義フィールドまたは個々の属性に基づくデータ・フィールドがオファー・パーソナライズに使用される場合、結果が最適化された ACO の結果から処理される場合、または CSP が対話式フローチャートで使用される場合に、発生します。 有効な値: 0 = 詳細履歴なし、1 = UA_DtlContactHist テーブルにレコードがある	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ExpirationDateTime	TIMESTAMP	NULL	オファー・バージョンが有効な実際の最後の日付 (午前 0 時まで)。この値は、プロセス・ボックスの実行時間と期間 (UA_Offer.ExpirationDateFlag = 1) に基づくことができます。あるいは、オファー (UA_Offer.ExpirationDateFlag = 0) またはユーザー (パラメーター化された場合) によって指定された絶対値にすることもできます。 有効な値: EffectiveDateTime より後の有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
EffectiveDateTime	TIMESTAMP	NULL	オファー・バージョンが有効な実際の最初の日付 (午前 0 時から開始)。この値は、プロセス・ボックスの実行時間 (UA_Offer.EffectiveDateFlag = 1) に基づくことができます。あるいは、オファー (UA_Offer.EffectiveDateFlag = 0) またはユーザー (パラメーター化された場合) によって指定された絶対値にすることもできます。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? はい

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
OfferHistoryID	BIGINT	NULL	オファーにパラメーター化されたオファー属性がある場合に、この処理に関連付けられた特定のオファー・バージョンにリンクします。 有効な値: UA_OfferHistory テーブルからの有効な OfferHistoryID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CampaignID	BIGINT	NULL	この処理が関連付けられるキャンペーン ID を識別します。 有効な値: UA_Campaign テーブルの任意の有効な CampaignID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CntrlCellID	BIGINT	NULL	ターゲット・セルに関連付けられた制御セルがある場合、このフィールドで制御セルの ID が保持されます。 有効な値: UA_TargetCell テーブルの任意の有効な CellID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 99. UA_Treatment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FlowchartID	BIGINT	NULL	処理を作成したフローチャートの固有 ID。 有効な値: UA_Flowchart テーブルに任意の有効な FlowchartID	19	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? はい 構成に影響されますか? いいえ

表 100. UA_Treatment の親テーブル

テーブル名	説明
UA_TargetCells	このテーブルは、すべてのフローチャートで作成されたターゲット・セルの情報を保管します。ターゲット・セルは出力プロセス (メール・リスト、コール・リスト、推奨、eMessage、スナップショット、または最適化) に添付されるセルとして定義されます。メタデータ情報 (名前、コード)、ソース情報 (キャンペーン、フローチャートおよびセル ID)、処理データ (割り当てられたオファー/オファー・リストと制御セルかどうかのリスト)、そしてセルがターゲット・セル・スプレッドシート (TCS) でトップダウンで作成されたか、またはフローチャート内でボトムアップで作成されたかを保管します。
UA_OfferHistory	このテーブルには、顧客に提供されたすべてのオファー・バージョンが保管されます。これによって、特定のオファー (offerID) のパラメーター化されたオファー属性 (OfferHistoryID によって識別されるオファー・バージョン) の特定の組み合わせが既に作成されている (CRC 値を使用している) かどうか判別されます。UA_OfferHistory テーブルには、固有のオファー・バージョンごとに一度だけ値が取り込まれます。あるオファーの UA_OfferHistory テーブルに既に値が取り込まれている場合、同じオファーのコンタクト履歴が更新されても、もう一度値が取り込まれることはありません。

表 100. UA_Treatment の親テーブル (続き)

テーブル名	説明
UA_Offer	このテーブルには、オファーの基本情報が保管されます。すべてのオファー属性は、現在 UA_OfferAttribute テーブルに保管されています。各オファーは、オファーの作成に使用されたオファー・テンプレートに関連付けられています。オファー作成中に、作成者は静的属性の値およびパラメーター化済み属性のデフォルト値を変更できます。パラメーター化済み属性の実際の値は、フローチャート設計時またはフローチャート実行時に割り当てられます。
UA_CCRunLog	このテーブルには、フローチャートが実稼働で実行されるたびにフローチャートの実行履歴が記録されます (テスト実行では記録されません)。新しいフローチャートが実行されるたびに、固有の RunID が生成されます (ブランチ/プロセスの実行時には生成されません)。開始/終了の日時、およびフローチャートを実行したユーザーが記録されます。IBM Distributed Marketing の実行の場合、リモート・ユーザーに関する情報も記録されます。
UA_Campaign	このテーブルは、ユーザーが提供したキャンペーン・メタデータと、基本実行情報を含んでいます。新規キャンペーンが作成されて保存されるたびに、このテーブルに 1 行が書き込まれます。関連テーブル (UA_CampToSegment、UA_CampToOffer、および UA_Flowchart) は、それらの関係/リンクまたはオブジェクトが作成されるまで更新されません。つまり、UA_Flowchart レコードは、新規フローチャートがキャンペーンに追加されたときのみ作成されます。UA_CampaignExtAttr は、キャンペーン・カスタム属性値と同時にデータ設定されます。

表 101. UA_Treatment の子テーブル

テーブル名	説明
UA_ResponseHistory	必須のレスポンス・トラッキング・フィールド (AudienceID、TreatmentInstID、レスポンス日、レスポンス・タイプなど) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー定義テーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のレスポンス履歴テーブルがあります。このテーブルの行は、レスポンス・プロセスで書き込まれます。

UA_Triggerlist

このテーブルには、スケジュール・プロセスとコンタクト・プロセスを介して送信される各発信トリガーの名前、定義、および注釈が保管されます。トリガーはコマンド・ライン (バッチ・ファイルまたはスクリプトが可能) を実行します。

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
FolderID	BIGINT	NOT NULL	オブジェクトが保管されるフォルダーのフォルダー ID。オブジェクトが保管されるフォルダーに基づいて、値が自動的に取り込まれます。オブジェクトを別のフォルダーに「移動」することによって、ユーザーはこの値を変更できます。 有効な値: UA_Folder テーブルに存在する任意の有効な FolderID 値	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? はい 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NOT NULL	トリガーの名前。フォルダー内で固有である必要があります。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	255	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	(オプション) ユーザーが入力する、トリガーのフリー・フォームのテキスト記述。 有効な値: 任意のテキスト文字 (テキストに用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)	1024	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
定義	VARCHAR	NULL	トリガー・ファイルの場所への絶対ファイル・パス (例えば、c:\Triggers\MyTrigger.bat)。 有効な値: OS によってサポートされる任意のテキスト文字	2048	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateBy	INTEGER	NULL	トリガーを作成したユーザーの Marketing Platform UserID。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	オブジェクトが更新 (編集および保存) された最後のサーバー日時。初回のオブジェクト作成では CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
UpdateBy	INTEGER	NULL	オブジェクトを最後に更新したユーザーの Marketing Platform ユーザー ID。初回のオブジェクト作成では、CreateBy と同じ。 有効な値: 有効な Marketing Platform ユーザー ID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
PolicyID	INTEGER	NULL	このオブジェクトにアクセスが許可される Marketing Platform ユーザーを決定する、オブジェクトのセキュリティ・ポリシー ID。オブジェクトがフォルダー内に作成された場合、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーは、オブジェクトがあるフォルダーのセキュリティ・ポリシーに自動的に設定されます (ユーザーは変更できません)。ユーザーは、別のセキュリティ・ポリシーを持つ別のフォルダーにオブジェクトを移動することによって、オブジェクトのセキュリティ・ポリシーを変更できます (ソースと宛先の両方のセキュリティ・ポリシーにおいて、ユーザーにそのオブジェクトの「移動」権限が必要です)。オブジェクトがそのオブジェクト・タイプのトップレベルのルート・フォルダーに作成された場合のみ、ユーザーが直接設定できます (ユーザーに役割があるセキュリティ・ポリシーが選択項目として表示されます)。 有効な値: IBM Marketing Platform usm_policy テーブルからの任意の有効な PolicyID	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? はい システム生成のオーバーライドですか? はい ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 102. UA_Triggerlist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ACLID	INTEGER	NULL	将来のバージョンで使用の予定。	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 103. UA_Triggerlist の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Folder	このテーブルには、システム内のオブジェクト・ストレージの内部フォルダーすべての基本データが含まれます。システム・オブジェクトを保管するために新規フォルダーが作成されるたびに、新しい行が作成されます (例えばキャンペーン、セッション、オファー、セグメント、カスタム・マクロ、ユーザー定義フィールドなど)。

UA_UsrResponseType

実装時にユーザーが定義するテーブル。説明とともにレスポンス・タイプのリストを保管します。一度構成すると、このテーブルの内容はレスポンス・プロセスの構成に表示されます。

表 104. UA_UsrResponseType のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponseTypeID	BIGINT	NOT NULL	各レスポンス・タイプの固有 ID (このテーブル内でのみ固有)。 有効な値: このテーブル内で固有の整数	19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 104. UA_UsrResponseType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
名前	VARCHAR	NULL	レスポンス・タイプの名前 (IBM Campaign GUI では表示されません) 有効な値: 有効な文字列。「参照」、「考慮」、「確定」、「調達」、「使用」、「アンサブスクライブ」、「不明」、「拒否」、「リンク・クリック」、「待ち受けページ」、「SMS 返信メッセージ」の値が事前定義されています (その他の値を追加することもできます)。	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 104. UA_UsrResponseType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
説明	VARCHAR	NULL	レスポンス・タイプのオプションの説明 (IBM Campaign GUI では表示されません) 有効な値: 有効な文字列	512	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? いいえ システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 104. UA_UsrResponseType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
ResponseTypeCode	VARCHAR	NULL	レスポンス・タイプを識別する固有のコード (レスポンス・タイプを識別するためにレスポンス・プロセスで使用されます)。 有効な値: 有効な文字列。 EXP、CON、CMT、FFL、USE、USB、UKN、RJT、LCL、LPA、SRE の値が事前定義されています (その他の値を追加することもできます)。これらの値は、「名前」フィールドに事前定義されたレスポンス・タイプに対応します (「参照」、「考慮」、「確定」、「調達」など)。	64	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 104. UA_UsrResponseType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CountsAsResponse	INTEGER	NULL	レスポンス・タイプがレスポンスとしてカウントされるかどうかを指定します。例えば、「購入」のレスポンス・タイプは、パフォーマンス・レポートにおけるロールアップ目的のレスポンスとして最終的にカウントされますが、「クリックスルー」のレスポンス・タイプは、カウントされません。 有効な値: 0 – レスポンスとしてカウントしない 1 – レスポンスとしてカウントする 2 – 拒否としてカウントする	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 104. UA_UsrResponseType のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
IsDefault	INTEGER	NULL	レスポンス・トラッキングにおいてレスポンス・タイプが NULL または指定されていない場合に、レスポンスをどのレスポンス・タイプに帰属させるかを指定します。 有効な値: 0 = デフォルト以外、1 = デフォルト (値 1 は単一の行のみ可能)	10	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? いいえ 作成時に保管しますか? いいえ 保存時に保管しますか? いいえ 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? はい

表 105. UA_UsrResponseType の子テーブル

テーブル名	説明
UA_ResponseHistory	必須のレスポンス・トラッキング・フィールド (AudienceID、TreatmentInstID、レスポンス日、レスポンス・タイプなど) と任意のユーザー定義の追加トラッキング・フィールドを保管するユーザー定義テーブル。オーディエンス・レベルごとに別個のレスポンス履歴テーブルがあります。このテーブルの行は、レスポンス・プロセスで書き込まれます。

UA_Version

表 106. UA_Version のフィールドの説明

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
VersionID	BIGINT	IDEN- TITY		19	1 次キーですか? はい 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? ? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? ?はい 保存時に保管しますか? ?はい 実行時に保管しますか? ?いいえ 構成に影響されますか? ?いいえ

表 106. UA_Version のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
VersionNumber	VARCHAR	NOT NULL		50	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 106. UA_Version のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
パラメーター	VARCHAR	NULL		255	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

表 106. UA_Version のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	タイプ	NULL?	説明	長さ	追加属性
CreateDate	TIMESTAMP	NOT NULL		23,3	1 次キーですか? いいえ 外部キーですか? いいえ 必須フィールドですか? はい システム生成ですか? いいえ システム生成のオーバーライドですか? いいえ ユーザー入力ですか? はい 作成時に保管しますか? はい 保存時に保管しますか? はい 実行時に保管しますか? いいえ 構成に影響されますか? いいえ

IBM 技術サポートに問い合わせる前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口の方が IBM 技術サポートに問い合わせることができます。以下のガイドラインを使用して、問題が効果的かつ成功裏に解決するようにしてください。

貴社の指定のサポート窓口以外の方は、必要な情報についてお客様の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートが API スクリプトを記述したり作成したりすることはありません。API オファリングを実装するための支援が必要な場合は、IBM Professional Services に連絡してください。

収集する情報

IBM 技術サポートに問い合わせる前に、以下の情報を収集してください。

- 問題の性質についての簡単な説明。
- 問題発生時に表示される詳細なエラー・メッセージ。
- 問題を再現するための詳細な手順。
- 関連したログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 『システム情報』で説明されている方法で取得できる、製品とシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、お客様の環境に関する情報の提供をお願いすることがあります。

生じている問題によってログインが妨げられていなければ、この情報の多くを、インストールされている IBM アプリケーションについての情報を示す「バージョン情報」ページから取得できます。

「バージョン情報」ページには、「ヘルプ」>「バージョン情報」と選択することでアクセスできます。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合には、アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを調べてください。

IBM 技術サポートの連絡先情報

IBM 技術サポートに連絡する方法については、IBM 製品の技術サポートの Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するためには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、IBM 顧客番号とリンクされている必要があります。

す。アカウントを IBM 顧客番号と関連付ける方法については、Support Portal の「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
170 Tracer Lane
Waltham, MA 02451
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することが

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明するこ

と、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような意図による、クッキーを含めたさまざまなテクノロジーの使用に関する情報は、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント」(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja>) の『クッキー、Web ビーコン、その他のテクノロジー』の節を参照してください。



Printed in Japan